議長	局長	次長	次長補佐	係長	係

第７号様式（第５条関係）

令和 8 年 3 月 31 日

流山市議会議長　石原　修治　様

会派名　　流政会
代表者名　　近藤　みほ

流山市議会政務活動費収支報告書提出書

流山市議会政務活動費の交付に関する条例第７条第１項の規定により、経理責任者から令和７年度流山市政務活動費収支報告書が提出されたので、その内容を審査した結果、適正であると認めたので、同条第２項の規定により、別紙のとおり提出します。

千葉県
流山市議会
8.3.31
第　号
受付

第６号様式（第５条関係）

令和 8 年 3 月 31 日

会 派 名　　流政会
代 表 者　　近藤　みほ　　様

経理責任者　　小沢　えみり

流山市議会政務活動費収支報告書

流山市議会政務活動費の交付に関する条例第７条第１項の規定により、令和７年度政務活動費に係る収支を下記のとおり報告します。

記

1　収　　入

流山市議会政務活動費　　3,840,000 円

2　支　　出

項　目	金　額	内　訳
調査研究費	263,650 円	会派視察（岩沼市・富谷市）
研　修　費	425,700 円	研修４件、延べ１４名
広　報　費	3,243,157 円	流政会だより 70,71,72,73 号
広　聴　費	0 円	
資料作成費	19,978 円	コピー代、コピー用紙代、文具代
資料購入費	14,256 円	書籍代
人　件　費	0 円	
事 務 所 費	0 円	
その他の経費	0 円	
合　　計	3,966,741 円	

3　自己負担金　　126,741 円

※支出が収入を上回った場合は、その差額は自己負担となります。

4　返 納 額　　無し

会計帳簿　第２号様式

調査研究費

調査研究費支出合計　263,650円

年月日		内　　容	金額	旅費等支出内訳書番号
自	至			
R8.2.4	R8.2.6	岩沼市、富谷市視察	263,650円	01

会計補助書類　第1号様式

旅費等支出内訳書

NO. 01

調査研究費　　会派・交付議員名：流政会

実施日	令和8年2月4日、令和8年2月6日　※令和8年2月5日は宮城県岩沼市株式会社L・P・Dにて研修を実施
場所及び視察項目	1　宮城県岩沼市「協働のまちづくり」 2　宮城県富谷市「不登校特例校富谷市立富谷中学校成田教室」
参加者名	近藤みほ、小沢えみり、川本大岳、渡辺仁二、坂巻儀一、笠原久恵、青野直、石原修治（1のみ） ※石原修治議員は議長公務のため、6日は不参加
費用合計	263,650円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項　目	内容（経路、等具体的に）	内訳			領収証（証憑）番号	備　考
			単価	数	金額		
R8.1.16	交通費	大宮→仙台→岩沼	10,670円	8	85,360円	①－1	
R8.1.16	交通費	仙台→大宮	10,870円	7	76,090円	①－3	
R8.2.3	交通費	仙台→大宮	▲10,870円	1	▲10,870円	①－4	近藤現地解散のため払い戻し
R8.2.4 R8.2.6	交通費	初石↔大宮（石原）	540円	2	1,080円	②	往復分
R8.2.4 R8.2.6	交通費	南流山↔大宮（青野、川本、小沢）	580円	6	3,480円	③	往復分
R8.2.4 R8.2.6	交通費	流山↔大宮（渡辺）	770円	2	1,540円	④	往復分
R8.2.4 R8.2.6	交通費	南柏↔大宮（笠原）	660円	2	1,320円	⑤	往復分
R8.2.4	交通費	流山おおたかの森→大宮（近藤）	540円	1	540円	⑥	現地解散のため片道のみ
R8.2.4 R8.2.6	交通費	運河↔大宮（坂巻）	490円	2	980円	⑦	往復分
R8.2.6	宿泊費	仙台ワシントンホテル	14,300円	7	100,100円	⑧	
R8.2.6	交通費	仙台→泉中央	310円	7	2,170円	⑨	
R8.2.6	交通費	泉中央→仙台	310円	6	1,860円	⑩	近藤現地解散1名減
		領収書番号①－2分は研修費に計上					

①

領　収　証

2026年 1月16日

流政会 様

金172，120円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

新松戸８０１ No.000003

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

①-4

払戻計算書

商品名　：　ＪＲ乗車券類　　枚
原券金額　：　¥10,870- 税10%
払戻対象額　：　¥10,870- 税10%

手数料　：　¥560- 税10%
払戻額合計　：　¥10,310-　　使用開始日：2026.-2.-6
〔現金扱い〕

原券購入日：2026.-1.16
東日本旅客鉄道㈱(T9011001029597)
2026.-2.-3 14:31　00196-01　新松戸駅ＦＮ１発行

※手数料は自己負担

①-1
2/4　8%分
@ 10,670×8 = 85,360円

①-2
2/5　1%分
@ 10,670×1 = 10,670円

①-3
2/6　7%分
@ 10,870×7 = 76,090円

76,090円 - 10,870円 = 65,220円（6%分）

※①-2は研修費に計上
（2日目研修後の帰路（自宅）分のため）

領収書①（ＪＲ東日本領収書）　金額内訳

	利用日	区間	単価	数量	金額	備考
①－1	R8.2.4	大宮⇒仙台⇒岩沼	10,670円	8	85,360円	
①－2	R8.2.5	仙台⇒大宮	10,670円	1	10,670円	研修費として計上 （旅費等内訳書 No４）
①－3	R8.2.6	仙台⇒大宮	10,870円	7	76,090円	

合計　172,120円

2

YAHOO! JAPAN 路線情報

初石→大宮(埼玉県) 2026年02月04日(水)10:00到着

石原

08:57発→09:47着 50分(乗車50分) 乗換：0回 36.8km

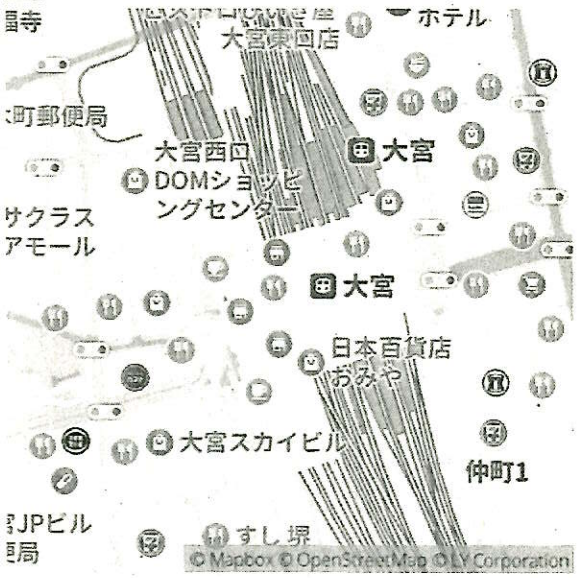
¥ 現金優先：540円 定期券 通勤：1か月 16,780円 / 3か月 47,830円 / 6か月 90,620円

08:57	発 初石	
13駅	東武アーバンパークライン区間急行 大宮行 [発] 1番線 → [着] 1・2番線	540円
09:47	着 大宮(埼玉県)	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

(3)

YAHOO! JAPAN 路線情報

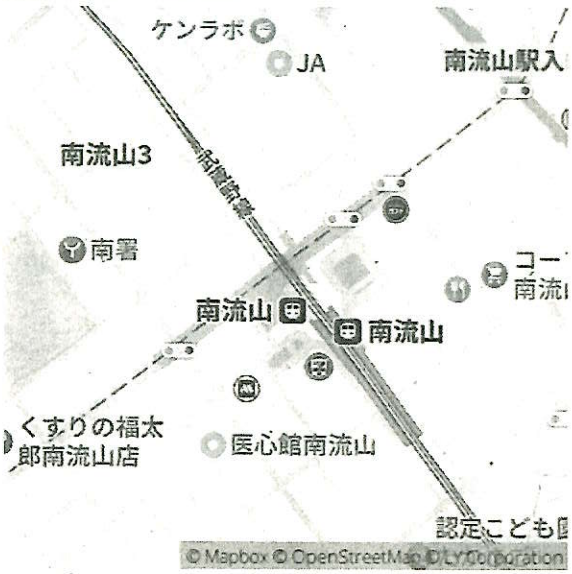
南流山→大宮(埼玉県) 2026年02月04日(水)08:50出発 青野,川本,小沢

09:04発→09:46着 42分(乗車38分) 乗換：1回 31.5km

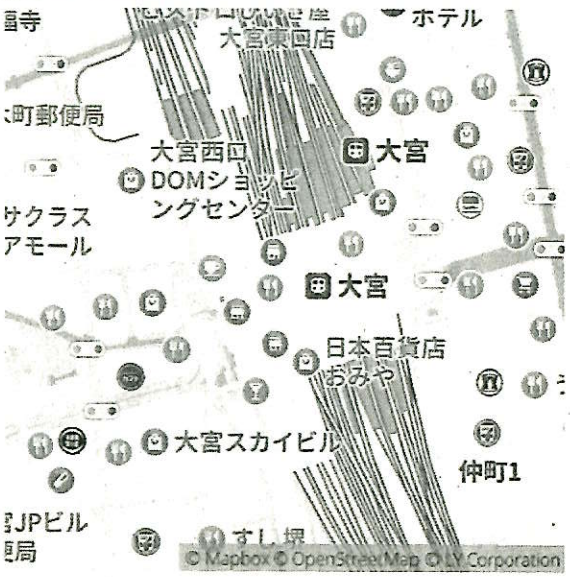
現金優先：580円 定期券 通勤：1か月 17,060円 / 3か月 48,630円 / 6か月 83,160円

09:04	発	南流山	乗車位置：[8両] 後
9駅		ＪＲ武蔵野線 東所沢行 [発] 1番線 → [着] 5番線	580円
09:30着 09:34発		南浦和	
5駅		ＪＲ京浜東北・根岸線 大宮行 [発] 3・4番線 → [着] 1・2番線	
09:46	着	大宮(埼玉県)	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

4

YAHOO! JAPAN 路線情報

流山→大宮(埼玉県) 2026年02月04日(水)08:50出発

渡辺

08:50発→09:52着 1時間2分(乗車48分) 乗換：2回 37.6km

(¥) 現金優先：770円 定期券 通勤：1か月 24,310円 / 3か月 69,280円 / 6か月 120,960円

08:50	発	流山	乗車位置：[2両] 前 中 後
4駅		流鉄流山線(当駅始発) 馬橋行 [発] 1・2番線 → [着] 情報なし	190円
08:59着 09:01発		幸谷	
		徒歩	
09:05着 09:07発		新松戸	乗車位置：[8両] 後
10駅		ＪＲ武蔵野線 府中本町行 [発] 3番線 → [着] 5番線	580円
09:35着 09:41発		南浦和	
5駅		ＪＲ京浜東北線 大宮行 [発] 3・4番線 → [着] 1・2番線	
09:52	着	大宮(埼玉県)	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

5

YAHOO! JAPAN 路線情報

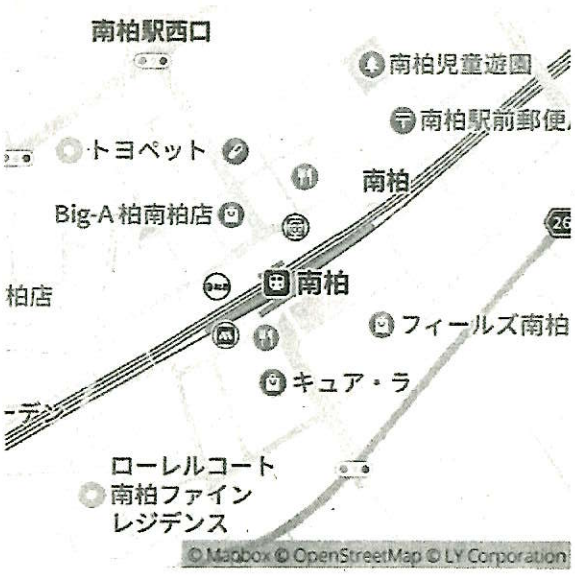
南柏→大宮(埼玉県) 2026年02月04日(水)08:50出発

08:52発→09:46着 54分(乗車45分) 乗換：2回 37.4km

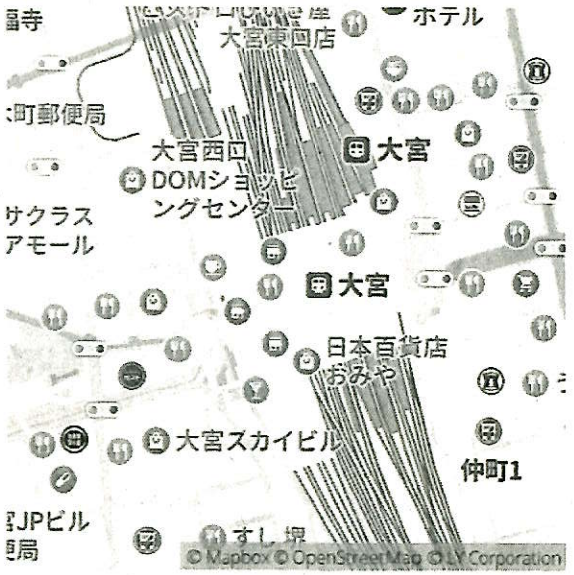
現金優先：660円 定期券 通勤：1か月 19,560円 / 3か月 55,740円 / 6か月 95,990円

08:52	発 南柏	乗車位置：[10両] 前 中
2駅	ＪＲ常磐線 代々木上原行 [発] 2番線 → [着] 2番線	660円
08:57着 09:02発	新松戸	乗車位置：[8両] 後
10駅	ＪＲ武蔵野線 東所沢行 [発] 3番線 → [着] 5番線	
09:30着 09:34発	南浦和	
5駅	ＪＲ京浜東北・根岸線 大宮行 [発] 3・4番線 → [着] 1・2番線	
09:46	着 大宮(埼玉県)	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

(6)

YAHOO! JAPAN 路線情報

流山おおたかの森→大宮(埼玉県) 2026年02月04日(水)08:50出発 近藤

08:55発→09:47着 52分(乗車52分) 乗換：0回 38.4km

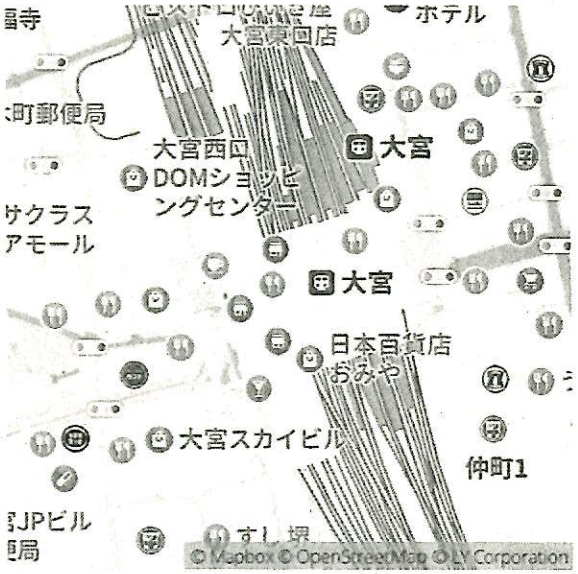
¥ 現金優先：540円 定期券 通勤：1か月 16,980円 / 3か月 48,400円 / 6か月 91,700円

08:55	発	流山おおたかの森	
14駅		東武アーバンパークライン区間急行 大宮行 [発] 1番線 → [着] 1・2番線	540円
09:47	着	大宮(埼玉県)	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

7

YAHOO! JAPAN 路線情報

運河→大宮(埼玉県) 2026年02月04日(水)08:50出発

坂巻

08:52発→09:45着 53分(乗車53分) 乗換：0回 33.2km

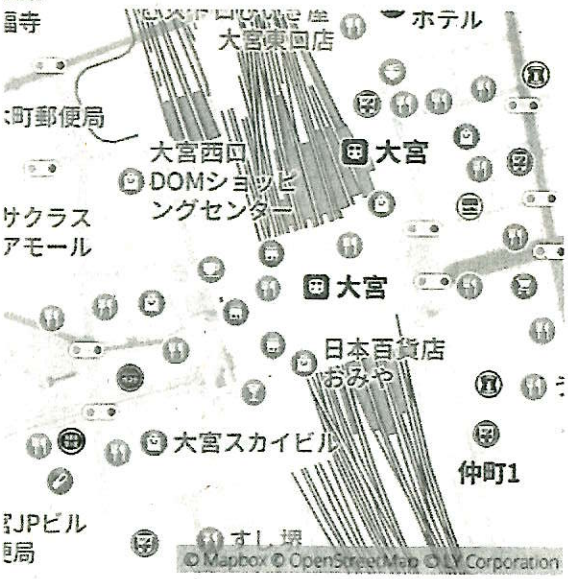
現金優先：490円 定期券 通勤：1か月 16,460円 / 3か月 46,920円 / 6か月 88,890円

08:52	発 運河	
18駅	東武アーバンパークライン 大宮行 [発] 情報なし → [着] 1・2番線	490円
09:45	着 大宮(埼玉県)	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

ご請求明細書
STATEMENT

藤田観光株式会社 登録番号:T6010001100247

8

仙台ワシントンホテル
SENDAI WASHINGTON HOTEL
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4-10-8
4-10-8,Chuo,Aoba-ku Sendai-shi,Miyagi,980-0021,Japan
TEL:022-745-2222 FAX:022-745-3333

お名前　流山市議会流政会　様

お部屋番号　80001　ご人数　7
ご到着　2026/02/05　ご出発　2026/02/06

日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考
02/05	現金	80001		100,100	
	宿泊室料	from301	14,000		
	■宿泊税		300	*	
	宿泊室料	from303	14,000		
	■宿泊税		300	*	
	宿泊室料	from501	14,000		
	■宿泊税		300	*	
	宿泊室料	from503	14,000		
	■宿泊税		300	*	
	宿泊室料	from827	14,000		
	■宿泊税		300	*	
	宿泊室料	from828	14,000		
	■宿泊税		300	*	
	宿泊室料	from830	14,000		
	■宿泊税		300	*	

ご請求金額　0

誠に勝手ながら既定の税金を加算させていただきます。

(内 宿泊税等:　2,100)
10%対象　98,000　(消費税　8,909)
消費税課税対象外　2,100

消費税課税対象　■ 消費税課税対象外　▲ その他

発行番号　020667103829 P　1　1 67 * GR B1
26/02/06　03:30　2410271

ご署名

領収書

2026/02/06　020667103829

お名前　流山市議会流政会　様

金額　¥100,100-

但し　ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。

仙台ワシントンホテル
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4-10-8
TEL:022-745-2222 FAX:022-745-3333

9

10

YAHOO! JAPAN 路線情報

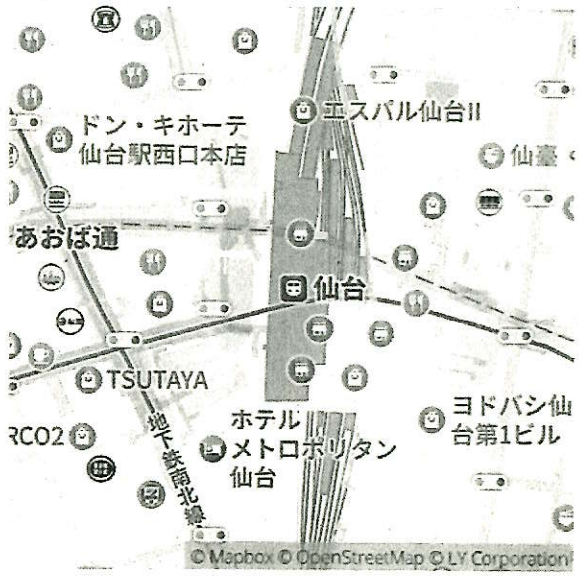
仙台→泉中央 2026年02月06日(金)08:50出発

08:52発→09:15着 23分(乗車16分) 乗換：0回 8.5km

㊎ 現金優先：310円 定期券 通勤：1か月 11,510円 / 3か月 32,820円 / 6か月 62,180円

08:52	発 仙台	
	徒歩	
08:57着 08:59発	仙台(地下鉄)	
9駅	仙台市地下鉄南北線 泉中央行 [発] 2番線 → [着] 1・2番線	310円
09:15	着 泉中央	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

令和７年度流政会行政視察・研修　行程

【日程】　令和８年２月４日（水）～令和８年２月６日（金）

【１日目】宮城県岩沼市「協働のまちづくり」（視察）
★岩沼市役所（概ね 13：30-15：00 を予定）

はやぶさ 13 号		JR 東北本線		送迎バス	
大宮駅	仙台駅		岩沼駅		昼食（NISHIKIYA KITCHEN）
10：00 集合	11：39 着		12：21 着		12：35 着
10：29 出発	12：00 発		12：25 発		13：20 発

徒歩		送迎バス		
	岩沼市役所		宿泊先	夕食
	13：25 着		15：30 着	18：00 頃
	15：20 発			

【宿泊先】
ホテルルートイン名取岩沼インター
住所：宮城県名取市堀内字北竹 345-1
TEL：050-5847-7601

【２日目】株式会社Ｌ・Ｐ・Ｄ「官民連携によるまちづくり」（研修）
★株式会社Ｌ・Ｐ・Ｄショールーム（岩沼市館下 3-1-23）

タクシー		タクシー		タクシー
宿泊先	（株）ＬＰＤ		昼食（竹駒の杜 CAFE）	
9：00 集合	9：20 着		12：35 着	
9：10 出発	12：15 発		13：55 発	

JR 東北本線		徒歩		
岩沼駅	仙台駅		宿泊先	夕食
14：10 着	14：43 着		15：00 着	18：00 頃
14：22 発	14：50 発			

【宿泊先】
仙台ワシントンホテル
住所：宮城県仙台市青葉区中央 4-10-8
TEL：022-745-2222

【３日目】宮城県富谷市「不登校特例校富谷市立富谷中学校 西成田教室」（視察）
★富谷市役所（概ね 10：00-11：30 を予定）

徒歩		仙台市営南北線	送迎（車）
宿泊先	仙台駅（市営）		泉中央駅
8：20 集合	8：40 着		9：06 着
8：30 出発	8：50 発		9：15 発

送迎（車）		仙台市営南北線	はやぶさ 58 号	
富谷市役所	泉中央駅	仙台駅（市営）		大宮駅
9：40 着	12：10 着	12：39 着		15：31 着
11：40 発	12：23 発	13：57 発		（解散）

※各自昼食⇒仙台(JR)へ移動

食事　※２日目、３日目朝食は宿泊先にて
　　※３日目昼食は各自仙台駅周辺にて

１日目　昼食　NISHIKIYA KITCHEN 岩沼店
宮城県岩沼市桜 1-6-45 リッチモンドスクエア岩沼内
0223-36-9115（席予約済 12：40～）
夕食　びすとろぼんてん
宮城県岩沼市館下１丁目 3-1ＫＳビル２階
0223-23-9009（席、コース予約済 18：00～）

２日目　昼食　竹駒の杜 CAFÉ 一粒万倍
宮城県岩沼市稲荷町 1-1 竹駒神社境内
0223-23-0309（予約不可）
夕食　三陸の恵みと仙台せり鍋 個室居酒屋 別邸 仙台駅前店
宮城県仙台市青葉区中央３－１－３aune 仙台６F
050-5459-5275（席、コース予約済 18：00～）

令和７年度流政会行政視察・研修　行程　（石原議長用、１・２日目のみ参加）

【日程】　令和８年２月４日（水）～令和８年２月５日（木）

【１日目】宮城県岩沼市「協働のまちづくり」（視察）
★岩沼市役所（概ね 13：30-15：00 を予定）

	はやぶさ 13 号		JR 東北本線		送迎バス	
大宮駅	- - - - - - -	仙台駅	- - - - - - -	岩沼駅	- - - - - -	昼食（NISHIKIYA KITCHEN）
10：00 集合		11：39 着		12：21 着		12：35 着
10：29 出発		12：00 発		12：25 発		13：20 発

	徒歩		送迎バス		
- - - - - - - -	岩沼市役所	- - - - - - -	宿泊先	- - - - - - - -	夕食
	13：25 着		15：30 着		18：00 頃
	15：20 発				

【宿泊先】
ホテルルートイン名取岩沼インター
住所：宮城県名取市堀内字北竹 345-1
TEL：050-5847-7601

【２日目】株式会社Ｌ・Ｐ・Ｄ「官民連携によるまちづくり」（研修）
★株式会社Ｌ・Ｐ・Ｄショールーム（岩沼市館下 3-1-23）

	タクシー		タクシー		タクシー
宿泊先	- - - - - - -	（株）ＬＰＤ	- - - - - - -	昼食（竹駒の杜 CAFE）	- - - - -
9：00 集合		9：20 着		12：35 着	
9：10 出発		12：15 発		13：55 発	

	JR 東北本線		はやぶさ 22 号	
- - -	岩沼駅	- - - - - - -	仙台駅	- - - - - - - - 大宮駅
	14：10 着		14：43 着	16：07 着
	14：22 発		14：57 発	

食事　※２日目朝食は宿泊先にて

１日目　昼食　NISHIKIYA KITCHEN 岩沼店
宮城県岩沼市桜 1-6-45 リッチモンドスクエア岩沼内
0223-36-9115（席予約済 12：40～）

夕食　びすとろぼんてん
宮城県岩沼市館下１丁目 3-1ＫＳビル２階
0223-23-9009（席、コース予約済 18：00～）

２日目　昼食　竹駒の杜 CAFÉ 一粒万倍
宮城県岩沼市稲荷町 1-1 竹駒神社境内
0223-23-0309（予約不可）

令和８年２月２４日

流山市議会議長　様

会派　流政会
代表者名　近藤　みほ

議員行政視察について、下記のとおり行政視察を実施いたしましたので、報告します。

記

１　視察期日　　令和８年２月４日（水）、６日（金）

２　参加者

４日（水）　近藤　みほ、小沢　えみり、川本　大岳、渡辺　仁二
坂巻　儀一、笠原　久恵、青野　直、石原　修治

６日（金）　近藤　みほ、小沢　えみり、川本　大岳、渡辺　仁二
坂巻　儀一、笠原　久恵、青野　直
（石原　修治は議長公務のため欠席）

３　視察地

（１）宮城県岩沼市
（２）宮城県富谷市

４　調査事項

（１）協働のまちづくり
（２）不登校特例校富谷市立富谷中学校西成田教室

５　視察報告

（１）令和８年２月４日（水）宮城県岩沼市「協働のまちづくり」

岩沼市は仙台駅まで電車で約２０分の距離にあり、名取市を挟んで仙台市の南側に位置している。面積は約６０㎢で流山市の約１．７倍、

人口は約４．３万人で流山市の約５分の１に相当する。

歴史的には、奥州街道と陸前浜街道の分岐点の宿場として栄えた交通の要衝であり、仙台空港が昭和３２年に開業している。こうした地理的条件や歴史的背景は、周辺都市との往来を前提とした生活圏を形づくり、地域課題の捉え方や連携の進め方にも影響しているものと受け止めた。

調査事項である「協働のまちづくり」について、岩沼市では、市民による「岩沼市協働のまちづくり推進会議」と市職員による「岩沼市協働のまちづくり検討委員会」を設けて検討を重ね、「協働のまちづくり指針（案）」及び「（仮称）市民活動サポートセンター検討報告書」を平成２３年６月に市長へ提出し、「協働のまちづくり指針」を取りまとめている。

単に会議体を置くだけでなく、市民と職員が目的を共有し、丁寧に議論を重ね、相互理解を深めることが大切であるとの説明は、実践的で共感できる点であった。

また、指針に示される協働の考え方は、役割分担にとどまらず、市民と行政が対等なパートナーとして互いを尊重し、補い合いながら進めることを明確にしている。説明の中でも「行政が主で市民が従ではなく、議論しながら一緒に進める」という趣旨が繰り返し述べられており、ここに岩沼市の協働の核があると感じた。

協働は、進め方によっては「参加」という名目だけが先行し、市民の意見が形式的に扱われてしまうおそれもあるが、同市では対等な関係を運用の前提として共有しているように見受けられた。協働を進めるうえでは、「何を協働と呼ぶのか」を最初に言葉として定義し、対等性と目的共有をぶれない基準にすることが重要であるとの認識を深めた。

市民の声を起点に実現した事例として、「玉浦コミュニティセンター」の整備が紹介された。同センターは、東日本大震災の復興過程で地域コミュニティが果たした役割を踏まえ、地域コミュニティの再構築と、いきがいづくりの拠点として整備されたものである。

整備にあたっては、住民代表や有識者等による検討委員会を設置し、基本方針や必要な機能、配置案を住民主体で検討し、その報告を踏ま

えて建設したという。完成した建物だけでなく、検討段階から住民が関わる「合意形成の進め方」そのものが、成功につながった要因であると感じた。公共施設は建設後に利用が伸びずに、いわゆる「箱物」と評されることもあるが、初期から住民が関わることで、地域の課題と暮らしの実感が結びつき、運営や活用への当事者意識が醸成されやすい。

施設整備を「建てて終わり」にせず、検討段階から担い手づくりにつなげる視点は、本市においても各種の取組で重要視すべき示唆であると感じた。

町内会や市民活動団体等が行う特色ある地域づくりや公益的な活動を後押しする「市民活動助成金」については、地域コミュニティの活性化や地域課題の解決に資する事業に加え、高齢者等のごみ出し支援も対象としている点が特徴である。

助成対象をイベントなどの「にぎわい」に限らず、日常の困りごとにまで広げていることは、地域課題の裾野を広く捉え、身近な課題を協働のテーマとして扱う姿勢の表れであり、市民活動を継続的な公共性へつなげるうえで有効であると感じた。

助成金活用の例として、手話サークルによる「手話と楽しい方言民話」というイベントが紹介された。障害の有無にかかわらず、楽しみながらコミュニケーションを深めたいという思いで企画され、参加者からも「手話が身近に感じられた」との声があったという。

助成金が資金面の支援にとどまらず、団体の企画力・実行力を引き出し、参加者の理解や関係性の変化につながっている点において制度の意義を感じた。

あわせて、協働の取組を通じて新たな市民活動団体が立ち上がった事例として、震災後に市が開催した「岩沼震災語り部研修会」の参加者がボランティアとして語り部ガイドを始め、市民活動相談会等を経て、令和５年３月に「いわぬま震災語り部の会」が発足したとの紹介があった。行政が一方的に「やってあげる」のではなく、学びの機会（研修）と相談の機会（相談会）を用意し、市民が自走して団体化していく流れを支えている点は、担い手形成の好例である。行政主導の事業を単発で終わらせず、参加者が継続的な活動へ移行できるよう、

学び・相談・拠点を連動させた支援設計が重要であることを学んだ。

そして最近の取組として、協働の重要なパートナーである町内会から、少子高齢化による担い手不足や、市からの依頼事項が多く負担が大きいといった声が上がっていることを受け、町内会の現状や困りごとを把握し、市として必要な支援を町内会の方々と共に検討していく方針であるとの説明があった。

その一環として、視察日の翌日である２月５日に、町内会を対象とした情報交換会を開催する予定とのことで、平成２３年の指針策定から約１５年を経ても、協働の定義がぶれることなく取組が継続されていることが伺えた。市民と行政が両輪としてまちづくりを支え合う姿勢こそが極めて重要であり、岩沼市においてはそうした市政が持続可能な形で地域の文化として根付いているものと受け止めた。

（２）令和８年２月６日（金）不登校特例校富谷市立富谷中学校西成田教室

１．富谷市の概要と課題認識

富谷市は、人口５２，３７９人、世帯数２０，８７３世帯（令和７年４月末現在）。市制施行（２０１６年（平成２８年））前の１９７５年以降、特に宅地開発により人口増加を続けてきた自治体である。市内には小学校８校（児童数３，１６３人）、中学校５校（生徒数１，８１９人）があり、３０日以上欠席する不登校児童生徒数は、全国と同様に増加傾向にあり、重要な教育課題となっていた。

２．不登校特例校設置の背景

平成２８年１２月施行の「義務教育の段階における普通教育に相当する教育機会の確保等に関する法律」により、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成する学校整備が努力義務とされた。この流れを受け、富谷市では令和３年４月に教育支援センターを整備、令和４年４月には東北初の不登校特例校として富谷中学校西成田教室を開設した。

不登校特例校とは、不登校児童生徒の実態に配慮し、特別に編成した教育課程に基づき教育を行う必要がある場合に、文部科学大臣が指定する学校である。

「学校に足が向かない理由」はこども一人ひとり異なるため、柔

軟な教育課程を編成できる点は大きな意義がある。

3．西成田教室の立地とトップの関与

西成田教室は、統廃合により閉校となった旧校舎を活用して設置されている。市のほぼ中央に位置し、どの学校区からも通いやすい立地であることに加え、里山に囲まれた自然豊かな環境は、こどもたちの学びの場として大きな魅力となっている。

この立地を活かした取組は、市長自らが強く推進してきたものであり、先進的な教育施策にはトップの明確なリーダーシップが不可欠であることを改めて感じた。

4．富谷市における不登校支援の全体像

富谷市では、以下のような多層的な支援体制が構築されている。

学校：別室学び支援教室、保健室、スクールカウンセラー、不登校担当

教育支援センター：来所支援、学校支援、家庭支援、相談支援

教育委員会・関係機関：教育相談員、スクールソーシャルワーカー

富谷中学校西成田教室（不登校特例校）

重要なのは、「支援を用意すること」ではなく、こどもにとって最も適切な学びの場を選択できるようにすることであり、ミスマッチを防ぐ姿勢が一貫している点である。

毎年度初めの校長会では、不登校児童生徒の状況を丁寧に見極め、適切につないでいくことが強く呼びかけられている。

5．入級の考え方とマッチングの重視

全国に約５０校ある「学びの多様化学校（不登校特例校）」は形態も多様で、中には通常校に近い学校も存在する。

富谷市では、こども本人の声を重視し、「少人数であれば学びたい」、「落ち着いた環境で学び直したい」といったニーズを踏まえ、少人数制を前提に受け入れを行っている。

実際の声としては、少人数で無理なく生活したい、勉強はしたいが、安心できる環境が必要、無理強いせず、本人のペースを尊重してほしい、今の学校ではついていけないが、自分のペースで学びたい、といった切実な思いが紹介された。

限られた人員体制の中では、安易に別室対応を増やすのではなく、

制度のコンセプトを明確にし、適切に「すみ分け」ることが不可欠である点が印象的であった。

6．教育目標と教育課程の特徴

西成田教室の教育目標は以下の通りである。

・生徒一人ひとりの多様性を認め、社会的自立を支援する

・専任教員による少人数指導で、学ぶ楽しさと成長の喜びを保障する

・自然豊かな環境での学びを通じ、前に進むきっかけをつくる

授業時数は通常校と同様に年間１，０１５時間を確保しつつ、一部教科を精選し、「総合的な学習（探究）」を充実させている。

学力保障と同時に、「卒業後の自立」を明確に見据えた構成となっている点が特徴である。

7．外部連携を重視した学び

特に力を入れているのが「なかまとの時間（協働探究）」である。

NPO 法人 SCR と連携し、農園活動や養蜂（市役所屋上の「みつばちの里」）など、地域循環を体感する学びを展開している。

少人数環境では人間関係が固定化しやすいため、外部の大人や地域との接点を意図的につくることが重視されている。

そのほか、ドローン、農業体験、ものづくり、福祉体験、ボランティア活動など、多彩なプログラムが用意されており、「学び」と「社会」をつなぐ実践が積み重ねられている。

8．進路と成果

これまでの卒業生８名の進路は、公立高校、私立高校、通信制高校、サポート校など多様である。

また、西成田教室で１年間学んだ後、元の学校へ戻り、欠席なく通学している事例も生まれている。

9．家庭・地域への支援

教育支援センターによる家庭訪問や、富谷ユネスコ協会による「語り合いの会（月１回）」など、保護者支援にも力を入れている。

保護者が安心するとこどもも安心するという好循環が生まれており、OB 保護者の参加や若者によるこどもの見守りなど、地域に根差した支援が継続されている。

10. 所感（流山市への示唆）

流山市でも、教育相談、親の会、学校内の支援教室、スクールソーシャルワーカー、地域資源との連携など、多様な支援は広がってきている。

一方で、地域と協働しながら「多様な学びの場」を体系的につくる取組は、まだ途上であると感じている。

富谷市の実践は、

・こども本人の選択を尊重すること
・制度のコンセプトを明確にすること
・家庭・地域を含めた支援を重ねること

の重要性を改めて示している。

流山市においても、学校に足が向かないこどもたちが、希望をもって学び続けられる環境づくりを進めていきたい。

会計帳簿　第３号様式

研修費

研修費支出合計　425,700円

年月日		内　容	金額	旅費等支出内訳書番号
自	至			
R7.4.17	R7.4.17	１軒のカフェのリノベーションから鹿沼のまちのリノベーションへ（栃木県鹿沼市）	47,520円	01
R7.7.22	R7.7.22	地方議員研究会「財政のプロから学ぶ基礎研修」（新宿区）	94,940円	02
R7.10.9	R7.10.10	第87回全国都市問題会議（宇都宮市）	40,730円	03
R8.2.5	R8.2.5	株式会社L・P・D「TakeshitaCommomまちづくり視察」（宮城県岩沼市）	242,510円	04

会計補助書類　第1号様式

旅費等支出内訳書

NO. 01

研修費　　会派・交付議員名：流政会

実施日	令和7年4月17日
場所及び視察項目	1軒のカフェのリノベーションから鹿沼のまちのリノベーション（栃木県鹿沼市）
参加者名	近藤みほ　渡辺仁二
費用合計	47,520円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項　目	内容（経路、等具体的に）	内訳			領収証（証憑）番号	備　考
			単価	数	金額		
R7.4.17	参加料	研修参加費	20,000円	2	40,000円	①②	
R7.4.17	交通費	流山おおたかの森↔新鹿沼（近藤）	2,340円	2	4,680円	③	往復分
R7.4.17	交通費	流山↔新鹿沼（渡辺）	1,420円	2	2,840円	④	往復分

領　収　書

令和7年4月17日

近藤 みほ　様

金　額	２０，０００　円

（うち消費税10%　1,818円）

但し、「１軒のカフェのリノベーションから鹿沼のまちのリノベーション」
研修参加費として上記金額を領収いたしました。

〒322-0052
栃木県鹿沼市銀座2丁目1869番地
株式会社ＤＡＮＮＡＶＩＳＩＯＮ
代表取締役　　風間　教司
登録番号：T8060001032285

株式会社 DANNA VISION

株式会社 DANNA

(一)

(2)

領　収　書

令和7年4月17日

渡辺仁二　様

金　額	２０，０００　円

（うち消費税10%　1,818円）

但し、「１軒のカフェのリノベーションから鹿沼のまちのリノベーション」
研修参加費として上記金額を領収いたしました。

〒322-0052
栃木県鹿沼市銀座2丁目1869番地3
株式会社ＤＡＮＮＡＶＩＳ
代表取締役　　風間　教司
登録番号：T8060001032285

株式会社 DANNA VISION

株式会社 DANNA

3

近藤

10:50発 → 12:23着　総額 2,340円(IC 2,339円)
所要時間 1時間33分　乗換 1回　距離 **95.7km**　CO_2 **1.6kg / 自動車比 83.0% 削減** ⓘ

Myポイント・Myルートに登録　印刷　テキスト　Googleカレンダー　Yahooカレンダー

	経路		乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	流山おおたかの森		1番線発		時刻表 路線図 出口・地図 グルメ	
10:50-11:27 37分	私 東武アーバンパークライン(大宮行)	前後列車		1,090円		23.2km
乗換4分 待ち2分	春日部		8番線着 3・4番線発		時刻表 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
11:33-12:23 50分	特 リバティけごん19号(東武日光行)	前後列車		↓	指定席 1,250円	72.5km
	新鹿沼				路線図 出口・地図 グルメ	

便利な機能使ってみませんか？乗換案内PREMIUM Amazonで販売中！　条件変更

YAHOO! JAPAN 路線情報

流山→栃木県鹿沼市仲町1604-1 2025年04月17日(木)13:00到着

渡辺 ④

09:56発→12:54着 2時間58分(乗車2時間3分) 乗換：3回 103.9km

¥ 現金優先：1,420円 定期券 通勤：1か月 34,910円 / 3か月 99,500円 / 6か月 184,470円

09:56	発	流山	乗車位置：[2両] 前 中 後
4駅		流鉄流山線(当駅始発) 馬橋行 [発] 1・2番線 → [着] 情報なし	190円
10:05着 10:07発		幸谷	
		徒歩	
10:11着 10:22発		新松戸	乗車位置：[8両] 前 中
7駅		ＪＲ武蔵野線 府中本町行 [発] 3番線 → [着] 1番線	230円
10:38着 10:41発		南越谷	
		徒歩	
10:44着 11:01発		新越谷	
7駅		東武スカイツリーライン急行 南栗橋行 [発] 4番線 → [着] 情報なし	1,000円
11:31着 11:32発		南栗橋	
15駅		東武日光線(当駅始発) 東武日光行 [発] 3・4番線 → [着] 情報なし	
12:40着 12:42発		新鹿沼	
		徒歩12分	
12:54	着	栃木県鹿沼市仲町1604-1	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



研修レポート

流政会　近藤みほ

テーマ：1軒のカフェのリノベーションから鹿沼のまちのリノベーションへ
実施日：2025年4月17日（木）
講師：風間 教司 氏（有限会社風間総合サービス／株式会社 DANNAVISION 代表取締役）
主催：株式会社 DANNAVISION
開催地：栃木県鹿沼市

---

1. 研修の概要

1999年、講師の風間氏が地元・鹿沼市の住宅の一部を改装し10席のカフェ「饗茶庵」を開業したのが出発点。地域の魅力に根ざした小さな店づくりから、現在では5店舗のカフェ運営やゲストハウス、コンサル事業などを展開する総合的な地域サービス事業会社へと発展。

本研修では、風間氏のこれまでの取組やリノベーションによるまちづくりの実例を学び、現地視察を通して地域再生の可能性を体感した。

---

2. 講義・視察の内容

■ 地域資源を活かすリノベーションの実践

- 最初の店舗は市街地中心部から外れた裏路地に位置。
- 投資額わずか70万円から始まり、地域住民との関係構築を重ね、現在は40席・年商2400万円に拡大。
- 「日光珈琲」というブランド名には、地元・鹿沼市の地理的な文脈（日光への宿場町）と、広く認知されやすい戦略的な意図がある。
- 自らDIYでの改修を重ね、次第に地域からも物件提供や運営依頼が寄せられるように。

■ 持続可能なまちづくり会社「DANNAVISION」設立

- 個人の活動では限界があると感じたタイミングで法人化。
- まちの魅力やストーリーを紡ぐ「現代版旦那衆」としての経営思想を持つ。
- 地域での起業支援、マルシェ運営、リノベーション事業、行政との連携も含めた広域的なまちづくり事業を展開。

---

3. ディスカッションのポイント

◎ 公民連携における行政の役割

- 「民間が提案してきたから任せる」のではなく、行政側で都市経営課題を明確化し、評価軸の設計が必要。
- 審査には経済部門のほか、地域代表や経営コンサルなど多様な視点を取り入れるべき。

◎ 地域参画への心得

- 地域には「誰がやるのか」への感情的反応もある。
- 地域史の学習、地元キーパーソンとの関係性構築、行政職員が間を取り持つことなどが円滑な参画への鍵。

◎ マルシェの終焉から得た教訓

- 継続のなかで「本気の起業希望者」ではなく「自己実現の場」へと変質してしまった。
- 「イベントをやるためのイベント」は避けるべきとの強いメッセージ。

4.「まちの駅・新 鹿沼宿」の視察

- 鹿沼市では「まちなか創造"夢"プラン」に基づき、観光・市民利用の両面に対応した拠点として「まちの駅」を整備。
- 全国でも珍しく、市が主導で「まちの駅」の制度を運営。設置数は全国最多クラス（100超）。
- 地場野菜の販売を中心に、年商は約2.5億円。市民の生活インフラとしても機能。
- マルシェなどが行えるよう電源設備も整備。ただし、行政設計の不備により敷地分断が生じるなど、利活用面での課題も残る。

---

5. 所感

本研修を通じて、個人の起業から地域全体の再生へと展開していくプロセスのリアリティを学ぶことができた。単なるハード整備ではなく、地域資源を掘り起こし、関係性を丁寧に編みなおすような「地域デザイン」の重要性を改めて認識した。

また、公民連携の形も多様化しており、行政が果たすべき責任と民間が発揮すべき創造力がどう調和するか、設計段階からの対話が必要であることを強く実感した。地域の中で"やってみせる"実践者の存在こそが、まちの未来を静かに動かしていることを感じた。

研修概要：https://kanumacommons.hp.peraichi.com/top/

◎テーマ：1軒のカフェのリノベーションから鹿沼のまちのリノベーションへ

【実施日】2025年4月17日(木)

【定員】12名(※最小催行人数は4名)

【受講料】お一人20,000円（税込み）

※受講料のお支払いは原則、前日までに銀行振込をお願いいたします。(もし現地清算をご希望の場合は、申込フォーム上で現地清算を選択の上、釣り銭の無いようにご準備下さい。)

【集合場所】まちの駅新・鹿沼宿（栃木県鹿沼市仲町1604-1）

【講師】風間教司 （有限会社風間総合サービス 代表取締役／株式会社DANNAVISION 代表取締役／鹿沼銀座エリアリノベーション共同体 代表）

＜プロフィール＞

1975年生まれ。東京の大学へ進学後、留年をきっかけに故郷である栃木県鹿沼市に帰る。印刷・広告営業職を経験した後、バーテンダーを経て、1999年に自宅を改装しカフェ「饗茶庵」をオープン。その後、「日光珈琲 玉藻小路」「日光珈琲 御用邸通」など複数店舗を経営し、地域での起業支援等も行う。2020年、株式会社DANNAVISIONを設立する他、地元栃木県内の企業とJV・鹿沼銀座エリアリノベーション共同体を設立しUR都市機構や鹿沼市とも連携し「kanuma commons」の運営を行う。

【当日のタイムスケジュール】

13:30　まちの駅 新・鹿沼宿に集合し、徒歩移動

14:00　根古屋路地にある「日光珈琲饗茶庵」にてランチ&オリエンテーション講義

15:30　リノベ物件案内まち歩き

17:00　まとめ、質疑応答

18:30　解散

【お申し込みの流れ】

お申し込みはコチラからリンク先の申し込みフォームにご入力をお願いいたします。

【申込締切り】

2025年4月16日(水)まで

※4月14日(月)までに最少催行人数に達しない場合は中止とさせていただきます。

【主催者】株式会社DANNAVISION

研修報告書

報告者氏名　　流政会　渡辺　仁二

実施日：　令和７年４月 17 日（木）
講師：　風間 教司 氏（有限会社風間総合サービス／株式会社 DANNAVISION 代表取締役）
主催：　株式会社 DANNAVISION
開催地：　栃木県鹿沼市

1. 研修の概要

本研修では、栃木県鹿沼市において地域資源を活かしたリノベーションを進めてきた風間教司氏の取組を通じ、地域再生と公民連携の在り方について学んだ。
講師の風間氏は、1999 年に自宅の一部を改装して 10 席のカフェ「饗茶庵」を開業。小規模ながら地域との関係づくりを重ね、現在では５店舗のカフェ経営をはじめ、ゲストハウスやリノベーション事業、まちづくり支援などを手掛ける総合的な地域サービス会社へと発展させている。

2. 講義および視察の内容

(1) 地域資源を活かしたリノベーションの実践

最初の店舗は市街地中心部から離れた裏路地に立地し、開業資金はわずか 70 万円。自ら DIY で改修を行いながら地域住民との関係を築き、現在では 40 席・年商約 2,400 万円にまで成長した。
「日光珈琲」というブランド名には、鹿沼が日光の宿場町として発展してきた地理的背景と、広く認知されやすい戦略的意図が込められている。
活動を続ける中で、地域から新たな物件提供や店舗運営の相談が寄せられるようになったという。

(2) 持続可能なまちづくり会社「DANNAVISION」の設立

個人での取組に限界を感じた風間氏は、法人化に踏み切り「株式会社 DANNAVISION」を設立。
「現代版旦那衆」として地域の魅力を発掘・編集し、マルシェの運営やリノベーション事業、行政との連携など、多角的なまちづくり活動を展開している。

3. ディスカッションの主な論点

◎ 公民連携における行政の役割

民間提案をそのまま受け入れるのではなく、行政として都市経営課題を明確化し、事業評価の基準を設計する必要がある。

また、審査においては経済部門に限らず、地域代表や経営コンサルタントなど多様な立場からの視点を取り入れることが有効である。

◎ 地域参画に向けた姿勢

地域活動には「誰がやるのか」という感情的な反応がつきもの。

地域史の理解や、地元キーパーソンとの関係づくり、行政職員の調整役としての関与が、円滑な協働の鍵となる。

◎ マルシェ運営の教訓

当初は起業支援を目的に始まったマルシェが、次第に「自己表現の場」として変化し、目的が曖昧化していった。

この経験から、「イベントを行うこと自体が目的化しないよう、意図と出口を明確に設計することが重要」との指摘があった。

4. 視察：「まちの駅・新 鹿沼宿」

鹿沼市は「まちなか創造“夢”プラン」に基づき、観光と市民利用の両面に対応する拠点として「まちの駅」を整備している。

同市は全国でも珍しく、市が制度運営を主導しており、設置数は全国最多クラス（100 箇所以上）にのぼる。

「新 鹿沼宿」では地場産品販売を中心に、年間売上約 2.5 億円を記録。マルシェ開催用の電源設備なども整備されており、市民の生活インフラとしても機能している。

一方で、敷地分断など行政設計上の課題も残されており、今後の改善が期待される。

5. 所感

風間氏の取組は、**個人の挑戦が地域の再生へと波及していく過程**を具体的に示しており、非常に示唆に富む内容であった。

単なる施設整備やイベント開催ではなく、地域資源の再発見と関係性の再構築を重ねる「地域デザイン」の重要性を再認識した。

また、公民連携の推進には、行政と民間それぞれの役割を明確にしたうえで、設計段階からの対話と協働が不可欠であると感じた。

地域の中で実践を積み重ねるプレーヤーの存在こそが、まちの変化を生み出す力となることを改めて実感した。

会計補助書類　第1号様式

旅費等支出内訳書

NO. 02

研修費　　会派・交付議員名：流政会

実施日	令和7年7月22日
場所及び視察項目	地方議員研究会「財政のプロから学ぶ基礎研修」(新宿区)
参加者名	近藤みほ　坂巻儀一　笠原久恵
費用合計	94,940円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項　目	内容(経路、等具体的に)	内訳			領収証(証憑)番号	備　考
			単価	数	金額		
R7.7.21	手数料	地方議員研究会　研修費　振込手数料	440円	1	440円	①	
R7.7.22	参加料	地方議員研究会　研修費(近藤、坂巻、笠原)	30,000円	3	90,000円	②	
R7.7.22	交通費	流山おおたかの森↔西新宿(近藤)	790円	2	1,580円	③	往復分
R7.7.22	交通費	運河↔西新宿(坂巻)	880円	2	1,760円	④	往復分
R7.7.22	交通費	南柏↔新宿(東京メトロ)(笠原)	580円	2	1,160円	⑤	往復分

(1)

JAキャッシュサービス

ご利用明細票

[redacted]

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	種目	通番
	[redacted]		

取扱日	口座番号等
07-07-21	
お取引内容 お振込み	
手数料 ¥440	お取引金額 ¥90,000
おつり ¥560	お取引後残高
時刻 15:44	
お支払可能残高	

[redacted]

ナガレヤマシギカイ リ
ユウセイカイ様

04-7158-1111

印紙税申告特
松戸
税務署承認済

JAバンク

振込手数料 ¥440

(2)

領収証

2025 年 7 月 22 日

流山市議会 流政会 様

★ ¥90,000

但 7/22 財政の基礎
7/22 歳入の基礎

3名様 研修会受講代として
上記正に領収いたしました



地方議員研究会
〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区
TEL 050-1089-9835



近藤 (3)

YAHOO! JAPAN 路線情報

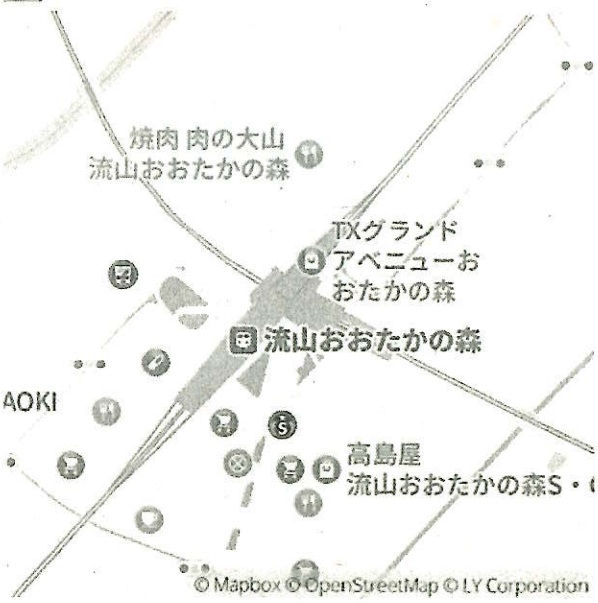
流山おおたかの森→西新宿 2025年07月22日(火)09:30到着

08:13発→09:28着 1時間15分(乗車1時間2分) 乗換：2回 38.1km

現金優先：790円 定期券 通勤：1か月 28,100円 / 3か月 80,090円 / 6か月 151,750円

08:13	発	流山おおたかの森	乗車位置：[6両] 前 中 後
7駅		つくばエクスプレス 秋葉原行 [発] 3・4番線 → [着] 2番線	530円
08:34着 08:42発		北千住	乗車位置：[10両] 後
11駅		東京メトロ千代田線 代々木上原行 [発] 1番線 → [着] 3番線	260円
09:09着 09:14発		国会議事堂前	
7駅		東京メトロ丸ノ内線 荻窪行 [発] 1番線 → [着] 1番線	
09:28	着	西新宿	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印 印 印 印 印

坂巻 ④

YAHOO! JAPAN 路線情報

運河→西新宿 2025年07月22日(火)09:30到着

08:01発→09:28着 1時間27分(乗車1時間13分) 乗換：3回 50.5km

現金優先：880円 定期券 通勤：1か月 30,420円 / 3か月 86,730円 / 6か月 157,030円

08:01	発	運河	乗車位置：[5両] 前 中 後 [6両] 前 中
5駅		東武アーバンパークライン(当駅始発) 柏行 [発] 2・3番線 → [着] 2番線	210円
08:15着 08:20発		柏	
2駅		ＪＲ常磐・成田線快速 上野行 [発] 3番線 → [着] 3番線	410円
08:38着 08:42発		北千住	乗車位置：[10両] 後
11駅		東京メトロ千代田線 代々木上原行 [発] 1番線 → [着] 3番線	260円
09:09着 09:14発		国会議事堂前	
7駅		東京メトロ丸ノ内線 荻窪行 [発] 1番線 → [着] 1番線	
09:28	着	西新宿	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

笠原 (5)

YAHOO! JAPAN 路線情報

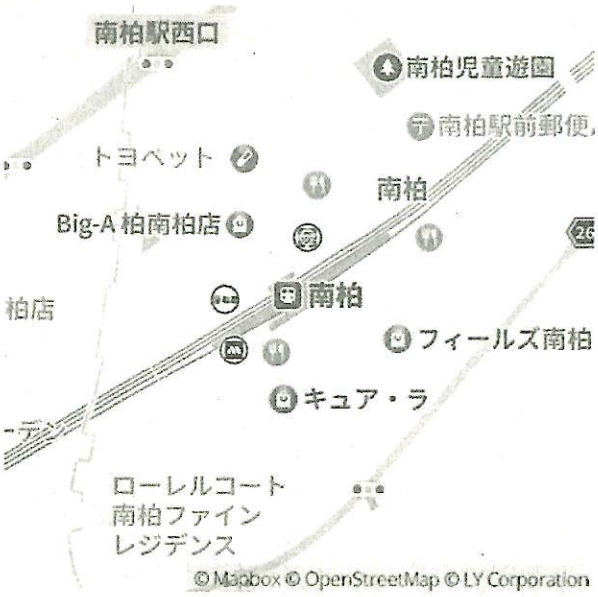
南柏→新宿 2025年07月22日(火)09:30到着

08:15発→09:30着 1時間15分(乗車1時間6分) 楽 安 乗換：1回 37.6km

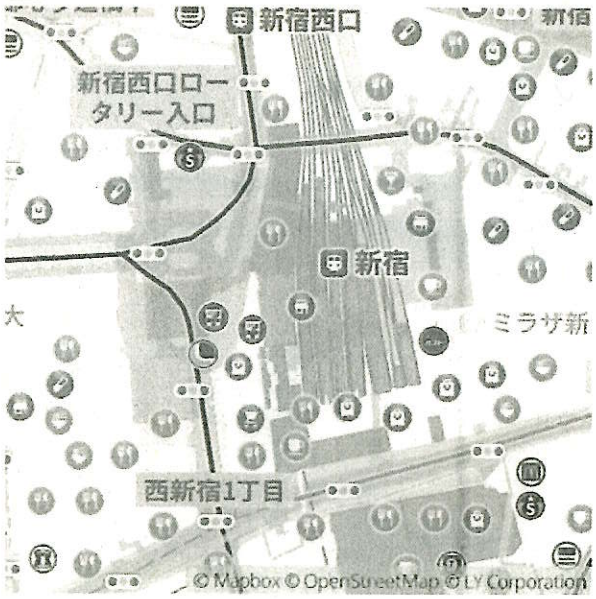
現金優先：580円 定期券 通勤：1か月 18,850円 / 3か月 53,750円 / 6か月 96,140円

08:15	発 南柏	乗車位置：[10両] 後
20駅	ＪＲ常磐線 代々木上原行 [発] 2番線 → [着] 3番線	580円
09:09着 09:14発	国会議事堂前	
6駅	東京メトロ丸ノ内線 荻窪行 [発] 1番線 → [着] 1番線	
09:26着 09:28発	新宿(東京メトロ)	
	徒歩	
09:30	着 新宿	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印 印 印 印 印

お堅い財政のことを
わかりやすく伝える
スペシャリストが解説

財政のプロから学ぶ基礎研修 in 東京 博多

7/22(火) 東京
8/4(月) 博多

10:00～12:30

財政の基礎

- 自治体財政の基本ルール
- 財政課がしていること
- 予算決算の流れ・国と地方の関係　　等

13:30～16:00

歳入の基礎

- 歳入の基本
- 地方交付税の解説
- 起債の仕組み
  ふるさと納税と自治体財政　　等

7/23(水) 東京
8/5(火) 博多

10:00～12:30

歳出の基礎

- 事業の作り方
- 財政課の査定から学ぶ
- 歳出削減策
- やりたい事業はたくさんある　　等

13:30～16:00

財政危機の基礎

- 本当に財政危機なのか
- 人件費の一律カットは愚策
- 財政の無理解が勘違いを生む　　等



講師 **今村 寛**（いまむら ひろし）　Office aNueNue代表／元福岡市役所財政課長

〔略 歴〕元福岡市職員。福岡市財政調整課長時代に培った知見を軸に出張財政出前講座を全国で展開する傍ら、福岡市職員有志による『「明日晴れるかな」福岡市のこれからを考えるオフサイトミーティング』を主宰し、「対立を対話で乗り越える」を合言葉に職場や立場を離れた自由な対話の場づくりを進めている。2024年末で福岡市役所を退職。引き続きフリーランスとして全国の自治体で行財政改革、官民連携等の支援に携わることとしている。好きなものは妻とハワイと美味しいもの。

著書／『自治体の“台所”事情～“財政が厳しい”ってどういうこと？』（ぎょうせい），『「対話」で変える公務員の仕事～ 自治体職員の「対話力」が未来を拓く』（公職研）。

FAX：050-6868-9679
お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。

メール申し込み
mail@chihogiken.or.jp

FAX申し込み
申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき ☑チェックを入れて
FAXで050-6868-9679宛にお送りください。

東京

7/22(火)

10:00～12:30	
☐ 財政の基礎	☐ 歳出の基礎
13:30～16:00	
☐ 歳入の基礎	☐ 財政危機の基礎

7/23(水)

10:00～12:30	
☐ 財政の基礎	☐ 歳出の基礎
13:30～16:00	
☐ 歳入の基礎	☐ 財政危機の基礎

博多

8/4(月)

10:00～12:30	
☐ 財政の基礎	☐ 歳出の基礎
13:30～16:00	
☐ 歳入の基礎	☐ 財政危機の基礎

8/5(火)

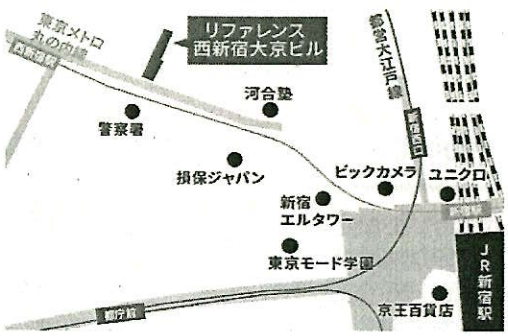
10:00～12:30	
☐ 財政の基礎	☐ 歳出の基礎
13:30～16:00	
☐ 歳入の基礎	☐ 財政危機の基礎

開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前　フリガナ	貴議会名　（　　期目）
電話番号　（　　）　　－	FAX番号　（　　）　　－
メールアドレス	
領収書のご宛名	
郵送サービスご希望の方はチェックしてください	☐ 当日不参加（資料・USB動画データ・領収書郵送希望） 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。
郵送先住所 ※郵送ご希望の方はご記入ください	〒　　－

東京会場 リファレンス西新宿大京ビル2階

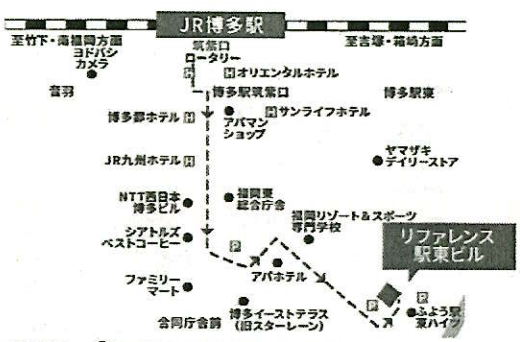
〒160-0023　東京都新宿区西新宿7丁目21-3



Googleマップ
東京メトロ丸の内線 【西新宿】駅 1番出口 徒歩1分
都営大江戸線 【新宿西口】駅 D4出口 徒歩8分

博多会場　リファレンス駅東ビル

〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14



Googleマップ
JR博多駅 筑紫口 徒歩4分
博多イーストテラス(旧スターレーン)方面へ向かい「アパホテル」角を右折。
左側ガラス張りのビル(1階コインパーキング)

受講料

1講座15,000円
※チェックボックス1つにつき15,000円です。

受講料は【受講確認書】到着後、事前のお振込みをお願いいたします。

※キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

お問合せ 地方議員研究会
TEL 050-6868-9678
FAX 050-6868-9679
メール mail@chihogiiken.or.jp
住所 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル 2階5-6号室

研　修　報　告　書

報告者氏名　坂巻儀一

1　会派名
流政会

2　期　　日
令和７年７月２２日（火）

3　研修内容
今村寛氏　財政の基礎・歳入の基礎について

4　所感等
今回の今村寛氏による講演を拝聴し、改めて地方自治体が直面する財政運営の難しさを強く実感した。特に印象に残ったのは、人口減少や高齢化が進む中で、自治体の財源構造そのものが持続可能性を失いつつあるという指摘である。多くの自治体で、社会保障関係経費の増大やインフラ更新需要が高まる一方、税収の伸びは鈍化し、財源不足が慢性化しているという現状が、具体的なデータや事例を交えて示された。
講演の中で語られた特定財源と一般財源の構造問題は、特に示唆に富んでいた。特定財源は使途があらかじめ決められているため、道路整備や特定事業には充てられるが、地域が本当に必要としている分野に自由に振り向けることができない。一方で、福祉・教育・子育て支援など、自治体が柔軟に対応したい分野は一般財源に依存しており、その不足が自治体の政策展開を大きく制約している。住民ニーズが多様化する中、一般財源の不足はますます深刻となり、「やりたい施策より、やらざるを得ない施策に追われる」状況が強まっているという説明は、地方議会に身を置く者として非常に重く受け止めた。
また、今村氏が強調した「見えない将来負担」の問題も重要で

あった。インフラの老朽化対策や公共施設の更新費用は、今後急激に増加することが確実であるにもかかわらず、住民にはなかなか実感されにくい。しかし、現実には市町村レベルで数百億単位の将来負担を抱えている自治体も少なくなく、これを計画的に解消しなければ、財政の硬直化は避けられないと指摘された。

講演を通じて痛感したのは、地方財政の厳しさを「国の制度が悪い」「人口減少だから仕方ない」といった単純な構図で捉えるのではなく、自治体が自らの財政構造を正しく把握し、長期的視点に立った政策選択を行う必要があるということである。同時に、議会としても財政データを読み解き、施策の優先順位を住民に対して丁寧に説明し、理解を得ながら進めていく姿勢が問われている。

今回の講演は、地方自治を担う立場としての責任と覚悟を改めて考える機会となった。限られた一般財源をどう活かし、住民福祉をどう守るのか。今後の議会活動にしっかり生かしていきたい。

研　修　報　告　書

報告者氏名　近藤　みほ

1　会派名
流政会

2　期　　日
令和７年７月２２日（火）

3　研修内容
今村寛氏　財政の基礎・歳入の基礎について

4　所感等

元福岡市財政課長・今村寛氏による財政研修を、流政会の笠原議員、坂巻議員とともに受講しました。先日の参議院選挙では、実現可能性が不透明な、いわば"政策のバーゲンセール"とも言える主張が多く見られました。

「どこを削り、どこに投資するのか」「限られた財源をどう活かすのか」といった本質的な議論が十分に示されず、財政的な裏付けの乏しさに不安を覚えた市民も少なくなかったのではないかと感じています。

今村氏は、「財政の仕組みがわかれば、より良い予算が組める。財源があってこそ事業は実現する」と強調されていました。だからこそ、予算・決算を審査する地方議員にとって、財政の基礎理解は不可欠であり、その問題意識から本研修に参加しました。

研修ではまず、「〇〇億円削減した」という政治的アピールが、必ずしも成果を意味しないことが指摘されました。重要なのは「何を削ったか」ではなく、「何を残し、何を守ったのか」であり、予算編成権は憲法に基づく重い権限である以上、未来世代の財源を先食いしていないかという視点を常に持つ必要がある、という点が印象に残りました。

また、決算審査において、執行額や不用額が生じたことを即座に問題視するのは適切ではない場合も多いことを学びました。不用額は、工夫により当初想定より安価に事業を実現できた「成果」であるケースも少なくありません。

「お金をかければサービスが増える」時代から、「限られた財源で成果を出す」時代へと転換している今、評価の物差しそのものを変える必要があるという指摘は、決算審査に直結する重要な視点だと感じました。

今村氏は、現役時代、「ない袖（予算）は振れない」と説明しても現場から理解が得られず、衝突を繰り返した経験を語られました。そこで財政の仕組みを広く伝えるため、出前講座を始められたとのことです。現在ではその活動が全国の自治体に広がっており、**財政は職員や議員だけでなく、市民も含めて共有されるべき共通言語である**という考え方に深く共感しました。

研修で得た主な論点（決算審査への示唆）

- 「今これだけあるから使う」という発想は危険であり、財政は単年度でなく構造で捉える必要があること
- 税収が増えても、その全額が自治体の裁量財源になるわけではなく、交付税制度との関係で実質的な増収は限定的であること
- 歳入の上振れが常態化している背景には、決算剰余金の役割が十分理解されていない現状があること
- 決算剰余金は、補正予算の財源や翌々年度の財政調整基金に充てられる重要な財源であり、安定的に生み出される状態をつくることが重要であること
- 四半期ごとの執行状況確認と適切な補正により、決算額に近い形での財政運営が可能になること
- 歳入審査では、一般財源・特定財源・依存財源の構成、基金の取り崩しと残高推移を丁寧に確認することが重要であること

また、事業評価においては、社会情勢の変化を踏まえ、市民ニーズが多様化・高度化している現状を前提に、**職員だけでなく市民にも説明可能な形での評価**が求められるとの指摘がありました。

ネーミングライツについては、経常収支への影響を確認したうえで、「枠予算は稼ぐ工夫をする」という考え方が示されました。単なる広告収入ではなく、事業内容を知ってもらうこと自体が企業側の価値になる時代であり、名称以外のメリット設計が重要であるという点も、今後の審査に活かしたい視点です。

おわりに

決算審査は、単なる数字の確認ではなく、「この自治体は、限られた財源をどう使い、何を将来に残そうとしているのか」を読み解く作業であることを、改めて認識する研修でした。

本研修で得た知見を、今後の決算審査および予算審議において、より質の高い問いとして反映していきたいと考えます。

研修報告書

笠原久恵

1. 研修テーマ

「決算審査のポイントと財政分析 ―主要施策の成果説明書を読み解く―」

（地方議員研究会 主催）

2. 日時・場所

・日時：2025年7月22日（火）

・場所：日本橋プラザビル（東京都中央区）

3. 講師

関西学院大学大学院 教授　稲沢 克祐 氏

4. 研修内容の要点

9月定例会の決算審査に向け、単なる計数の確認にとどまらない「政策評価」の視点を学んだ。

・財政指標（実質公債費比率・将来負担比率等）による自治体の健康診断。

・「主要施策の成果説明書」を用いた、事務事業の成果（アウトカム）の検証。

・決算審査の結果を次年度予算編成へ反映させるPDCAサイクルの構築。

5.所感

本研修では、難解になりがちな財政や予算の仕組みについて、ジブリのアニメを使って分かりやすく説明していたのが非常に印象的であった。身近な物語の構造に例えることで、複雑な財政運営の力学を直感的に理解することができ、非常に実効性の高い講義内容であった。

議員として期を重ねていく中で、決算審査の重要性は十分に理解しているつもりであったが、今回の研修を通じて改めてその奥深さを痛感し、とても勉強になりました。

特に、不用額の発生理由を精査し、形式的な審査から「事業の質の向上」を求める審査へと深化させる必要性を再認識した。今後は当市の成果指標が真に市民の幸福に繋がっているかを厳しく精査し、次年度予算への建設的な提言に繋げていきたい。

会計補助書類　第1号様式

旅費等支出内訳書

NO. 03

研修費

会派・交付議員名：流政会

実施日	令和7年10月9日、10日
場所及び視察項目	第87回全国都市問題会議（宇都宮市）
参加者名	川本大岳
費用合計	40,730円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項　目	内容（経路、等具体的に）	内訳			領収証（証憑）番号	備　考
			単価	数	金額		
R7.9.1	手数料	第87回全国都市問題会議　振込手数料	330円	1	330円	①	
R7.10.9	交通費	南流山↔宇都宮	3,850円	2	7,700円	②	往復分
R7.10.10	交通費	南流山↔宇都宮	3,850円	2	7,700円	③	往復分
R7.10.16	参加料	第87回全国都市問題会議	25,000円	1	25,000円	④	

(1)

自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	取扱店	号機	N/B	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
07-09-01	049	4	N	[redacted]			228	引出

お取引金額	振込手数料	お取引後元帳残高
¥25,000	¥330	**********

ご案内　＊　お振込明細　＊　2C0228

お振込先　[redacted]

14:29

ご依頼人　000410ﾅｶﾞﾚﾔﾏｼｷﾞｶｲ　様

[redacted]

印紙税申告納付につき千葉東税務署承認

■印紙税納付の必要がない場合は＊印で消しております。

裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

(2)

YAHOO! JAPAN 路線情報

南流山→宇都宮 2025年10月09日(木)09:10到着

07:27発→09:00着 1時間33分(乗車1時間7分) 乗換：2回 110.7km

¥ 現金優先：3,850円（乗車券1,980円 特別料金1,870円） 定期券 通勤：1か月 90,730円 / 3か月 258,610円 / 6か月 - 円

07:27	発	南流山	乗車位置：[8両] 後
9駅		ＪＲ武蔵野線 府中本町行 [発] 1番線 → [着] 5番線	1,980円
07:55着 08:02発		南浦和	乗車位置：[10両] 前 中 後
5駅		ＪＲ京浜東北・根岸線 大宮行 [発] 3・4番線 → [着] 1・2番線	
08:13着 08:32発		大宮(埼玉県)	
		ＪＲ新幹線やまびこ127号 仙台行 [発] 17番線 → [着] 1番線	自由席：1,870円
09:00	着	宇都宮	

YAHOO! JAPAN 路線情報

南流山→宇都宮 2025年10月10日(金)09:10到着

07:27発→09:00着 1時間33分(乗車1時間7分) 乗換：2回 110.7km

㊎ 現金優先：3,850円（乗車券1,980円 特別料金1,870円） 定期券 通勤：1か月 90,730円 / 3か月 258,610円 / 6か月 - 円

07:27	発	**南流山**	乗車位置：[8両] 後
9駅		ＪＲ武蔵野線 府中本町行 [発] **1**番線 → [着] **5**番線	1,980円
07:55着 08:02発		**南浦和**	乗車位置：[10両] 前 中 後
5駅		ＪＲ京浜東北・根岸線 大宮行 [発] **3・4**番線 → [着] **1・2**番線	
08:13着 08:32発		**大宮(埼玉県)**	
		ＪＲ新幹線やまびこ127号 仙台行 [発] **17**番線 → [着] **1**番線	自由席：1,870円
09:00	着	**宇都宮**	

④

領収証発行日:2025/10/16

収入印紙

株式会社JTB 宇都宮支店
〒320-0801
栃木県宇都宮市池上町4-1 東栄ビル4階
担当者[redacted]

領収証番号:325391441000236001
登録番号:T8010701012863

領 収 証

流山市議会 流政会

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計 ￥25,000 (税込)

イベント名	第87回全国都市問題会議
イベント会期	2025/10/09 ～ 2025/10/10

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分	
	￥25,000	￥1,090	−
(10%対象)	￥12,000	￥1,090	−
(8%対象)	￥0	￥0	※1
(対象外)	￥13,000	￥0	※2

入金額	￥25,000

請求残額	￥0

※1 軽減税率適用
※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

領　収　明　細

領収証発行日：2025/10/16

領収額合計　　￥25,000　　(税込)

【内訳】

イベント名	第87回全国都市問題会議				
イベント会期	2025/10/09 ～ 2025/10/10				
申込日	ご利用日・内容	本体単価(税込)	数量	本体合計(税込)	税区分 内消費税
2025/08/05	2025/10/09 会議参加登録 川本　大岳 様(申込者)	￥13,000	1	￥13,000	※2
2025/08/05	2025/10/10　12:10～　【Dコース】プロスポーツチーム連携事例視察コース 川本　大岳 様	￥12,000	1	￥12,000	10%
	① 請求額合計			￥25,000	￥1,090
	(10%対象)			￥12,000	￥1,090
	(8%対象 ※1)			￥0	￥0
	(対象外 ※2)			￥13,000	￥0
	② 入金額			￥25,000	
	③ 請求残額			￥0	

※1　軽減税率適用

※2　消費税対象外商品

研　修　報　告　書

会　派　名　流政会
報告者氏名　川本　大岳

1　研修名
第８７回全国都市問題会議（栃木県宇都宮市）

2　期　日
令和７年１０月９日（木）から１０月１０日（金）まで

3　開催都市及びテーマ

栃木県・宇都宮市

成熟社会の都市のかたち
～コンパクトで持続可能なまちづくり～

4　所感等

成熟社会とは、これまでの成長期・停滞期を経て過渡期に入り、今後を見据えた社会を指す。人口の観点から見れば、人口減少時代に向かう社会のことである。これまでの成長社会では拡大を是としてきたが、今後は人口減少に見合った都市のかたちをいかに再構築していくかが問われている。本研修は、その課題に対する多角的な提言を得るものであった。

コンパクトなまちづくりが求められる歴史的背景、持続可能な都市再編の方向性、住民による主体的なまちづくり活動の推進と行政の支援のあり方、さらに中心部への人の流れを促す施策の重要性などについて、基調講演、報告、パネルディスカッション等を通して学ぶ機会となった。

（１）基調講演
人口減少・成熟社会のデザイン
京都大学名誉教授　広井良典氏

ＡＩを活用し、２０５０年を見据えた未来シナリオとして「都市集中シナリオ」と「地方分散シナリオ」についての講演であった。これまでの人口・経済が拡大した成長期は、山登りに例えれば山頂を目指す過程であり、「都市への一極集中」が進行した時代であった。これに対し、人口減少時代は下山の時代にあたり、各人のゴールは多様である。政策面でも一極集中から多極分散へと向かうことが、ＡＩが導き出す一つの解であるとされた。

（２）主報告
人口減少社会に対応する都市の構造改革～１００年先も発展できる「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成～

栃木県宇都宮市長　佐藤栄一氏
ＮＣＣ（＝ネットワーク型コンパクトシティ）とは、中心部の「都市拠点」と周辺の「地域拠点」を階層的な交通ネットワークで結ぶ構想である。日常生活は各拠点内で快適に過ごすことができ、より高次な機能を必要とするときには都市拠点に移動できる。このように、それぞれの地域が維持・発展し続けるための「連携・集約型都市」の形成を目指す政策について学んだ。

（３）一般報告
「縮充」発想による公共施設マネジメント
東洋大学国際ＰＰＰ研究所シニアリサーチパートナー　南学氏
これまで拡大を続けてきた公共施設を、今後は縮小しながらも充実させていくという「縮充」をテーマとした講演であった。
都市縮小時代の持続可能なまちづくり～人が集い、未来に躍動する世界都市・高松～
香川県高松市長　大西秀人氏
高松丸亀町商店街を、コンパクトシティ（歩いて暮らせるまち）の理念によって再生へ導いた実践事例の講演であった。
次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり
早稲田大学理工学術院教授　森本章倫氏
自動運転バスやシェアリングモビリティなど、コンパクトシティを支える次世代交通システムについての講演であった。

（４）パネルディスカッション
テーマ：成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～
コーディネーター　埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授　内田奈芳美氏
パネリスト　（株）みちのりＨＤ代表取締役グループＣＥＯ　兼　関東自動車（株）代表取締役社長　吉田元氏　まちなか広場研究所主宰　山下裕子氏　北海道室蘭市企画財政部長　高橋知規氏（北海道室蘭市　青山剛市長代理）　鳥取県米子市長　伊木隆司氏
【ポイント１】現代における「移動」：ウォーカブルなまちづくりの実践と、移動自体を楽しむこと
【ポイント２】コンパクトシティにおける「拠点」：拠点地域や場所をどのように形成し、生活とつなぐか
これら２つのポイントを軸に、以下の４つの問いについて議論が行われた。
【疑問１】移動したいときに自由に移動でき、幸福に生活できるためには何が必要か。
【疑問２】まちの中で「拠点」性をどのように構築すれば、サービス提供やパブリックライフの形成に寄与できるか。
【疑問３】地域外との連携を保ちながら、地域内での「良い」循環をいかに創出できるか。
【疑問４】機能的充足性・分配的合理性を超えた「感情的納得性」を、どのようなストーリーで伝えていくべきか。
市民の「感情的納得性」にどう応えるか、すなわち理屈や根拠だけでなく共感によ

る合意形成をいかに実現するか、そして市民と行政がどのように協働してまちづくりを進めるかという観点を中心に、活発な議論が展開された。

（５）行政視察

テーマ：プロスポーツチームとの連携事例

国際的スポーツイベントとプロスポーツチームの連携事例として、①宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースと宇都宮ブリッツェン、②ＦＩＢＡ３×３ワールドツアー宇都宮オープナーと宇都宮ブレックスの取り組みについて講習を受けた。世界大会の誘致によって、市民に非日常的な楽しみを提供し、観光による経済効果を生み出している点を学んだ。

その後、日環アリーナ栃木にて（株）宇都宮ブレックスの藤本代表取締役社長より、チーム創設の経緯やこれまでの歩み、地域貢献活動、「アリーナを核としたまちづくり」について講話をいただいた。特に、「ブレックスを応援するために宇都宮に移住した市民がいる」というエピソードには大きな感銘を受けた。

第87回 全国都市問題会議
会 議 案 内

期 日：令和７年10月９日（木）・10日（金）

会 場：ライトキューブ宇都宮（宇都宮駅東口交流拠点施設）

（主 催）

全 国 市 長 会

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

公益財団法人 日 本 都 市 セ ン タ ー

宇 都 宮 市

（協 賛）

公益財団法人 全 国 市 長 会 館

1.会議日程

※敬称略

第1日　10月9日(木)	
9:30	**開会式** 開会挨拶　全国市長会会長　広島県広島市長　**松井一實** 開催市市長挨拶　栃木県宇都宮市長　**佐藤栄一** 来賓祝辞　栃木県知事　**福田富一**
9:50	**基調講演** 人口減少・成熟社会のデザイン 京都大学名誉教授　**広井良典**
10:50	**主報告** 人口減少社会に対応する都市の構造改革 ～100年先も発展できる「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成～ 栃木県宇都宮市長　**佐藤栄一**
11:50	昼　食（80分）
13:10	**一般報告** 「縮充」発想による公共施設マネジメント 東洋大学国際PPP研究所シニアリサーチパートナー **南　学**
14:10	休　憩（20分）
14:30	**一般報告** 都市縮小時代の持続可能なまちづくり ～人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松～ 香川県高松市長　**大西秀人**
15:30	**一般報告** 次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり 早稲田大学理工学術院教授　**森本章倫**
16:30	終　了

第2日　10月10日(金)

9：30	**パネルディスカッション** 【テーマ】 成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～ 【コーディネーター】 埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授 内田奈芳美 【パネリスト】 ㈱みちのりHD代表取締役 グループCEO (兼)関東自動車㈱代表取締役社長　吉田　元 まちなか広場研究所主宰　山下裕子 北海道室蘭市長　青山　剛 鳥取県米子市長　伊木隆司
11：50	**閉会式** 次期開催市市長挨拶　山形県山形市長　佐藤孝弘 閉会挨拶　公益財団法人日本都市センター理事長 香川県高松市長 大西秀人
	行政視察【希望者のみ（有料）】
	行政視察 A：「交通システム」視察コース B：「日本遺産・大谷石文化」視察コース C：「グローバル企業」視察コース D：「プロスポーツチーム連携事例」視察コース E：「街なか活性化事例」視察コース F：「観光分野における広域連携事例」視察コース

2. 講師略歴

基調講演



広井良典（ひろい　よしのり）
京都大学名誉教授

1961年岡山市生まれ。東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学教授、京都大学教授を務める。専攻は公共政策および科学哲学。『日本の社会保障』でエコノミスト賞、『コミュニティを問いなおす』で大仏次郎論壇賞受賞。他に『ポスト資本主義』『人口減少社会のデザイン』など著書多数。この間、内閣府幸福度に関する研究会委員、国土交通省国土審議会専門委員、環境省次期生物多様性国家戦略研究会委員、外務省国際社会の持続可能性に関する有識者懇談会委員等を務める。

主報告



佐藤栄一（さとう　えいいち）
栃木県宇都宮市長

1961年宇都宮市生まれ。明治大学法学部法律学科卒業。1986年北関東観光開発株式会社代表取締役就任、1997年社団法人宇都宮青年会議所理事長、2000年社団法人日本青年会議所副会頭。2004年11月宇都宮市長に就任。現在6期目。市長就任以降、持続可能な都市構造であるネットワーク型コンパクトシティ（NCC）の形成と、階層的な公共交通ネットワークの基軸となるLRT（ライトライン）の整備に取り組むとともに、目指すまちの姿として、NCCを土台に「地域共生社会」「地域経済循環社会」「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」や「デジタル」によって発展する「スーパースマートシティ」を掲げ、持続可能なまちづくりを進めている。

一般報告



南 学（みなみ　まなぶ）　東洋大学国際PPP研究所シニアリサーチパートナー

横浜市生まれ。1977年東京大学教育学部を卒業後、横浜市役所に就職。1989年カリフォルニア大学（UCLA）大学院に留学派遣（修士号取得）。帰国後、市立大学事務局、市長室等を歴任し、2000年静岡文化芸術大学文化政策学部助教授。横浜市立大学教授、神奈川大学特任教授を経て東洋大学客員教授から同大学国際PPP研究所シニアリサーチパートナー。自治体の経営・マネジメントを研究。著書に『ポストコロナ社会の公共施設マネジメント』（学陽書房、2021年）、『行政経営革命』（ぎょうせい、2003年）、月刊『地方財務』誌に、公共施設マネジメント関連の論文を100回以上連載、など多数。



大西秀人（おおにし　ひでと）　香川県高松市長

1959年香川県生まれ。東京大学法学部卒業後、自治省へ入省。その後、北海道地域振興室長、自治省税務局税務企画官、島根県総務部長などを歴任し、2006年、総務省情報通信政策局地域放送課長を最後に、総務省を退職。2007年5月から高松市長。現在5期目。全国市長会相談役、全国市長会介護保険対策特別委員会委員長、厚生労働省社会保障審議会介護保険部会委員、厚生労働省医療介護総合確保促進会議構成員、公益財団法人日本都市センター理事長、公益社団法人国民健康保険中央会会長。



森本章倫（もりもと　あきのり）　早稲田大学理工学術院教授

1964年山口県生まれ。1989年早稲田大学大学院理工学研究科修了。早稲田大学助手、宇都宮大学助手・助教授、マサチューセッツ工科大学（MIT）研究員を経て、2012年宇都宮大学大学院工学研究科教授、2014年から現職である早稲田大学理工学術院教授。専門は、都市計画、交通計画。博士（工学）、技術士（都市および地方計画）。日本都市計画学会前会長、日本交通政策研究会常務理事のほか、国土交通省都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会座長、芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会会長など、国や都道府県、区市町などの多くの検討会委員を務める。主な著書に、『図説わかる都市計画』（学芸出版社、2021年、編著）『City and Transportation Planning: An Integrated Approach』（Routledge、2021年、単著）などがある。

パネルディスカッション



コーディネーター

内田奈芳美（うちだ　なおみ）

埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授

1974年福井県生まれ。2004年ワシントン大学（シアトル）アーバンデザイン＆プランニング専攻修士課程修了。2006年早稲田大学大学院博士課程修了。博士（工学）。金沢工業大学環境・建築学部講師などを経て、現職。アーバンデザインセンター大宮・副センター長。2021～22年、ワシントン大学・ラトガーズ大学客員研究員。主な著書に『ネイバーフッド都市シアトル：リベラルな市民と資本が変えた街』（学芸出版社、2025年）、『金沢らしさとは何か』（北國新聞社、2015年、共同編集）、『都市はなぜ魂を失ったかージェイコブズ後のニューヨーク論』（講談社、2013年、翻訳）など。



パネリスト

吉田　元（よしだ　げん）

（株）みちのりホールディングス
代表取締役グループCEO
兼 関東自動車（株）代表取締役社長

1996年東京三菱銀行（現三菱UFJ銀行）入行。法人営業や新商品開発・経営統合等の各種企画業務に従事。その後、ハイテクベンチャーにて、財務・経営企画・新規事業開発等を統括。2008年2月（株）経営共創基盤（IGPI）参画、製造業を中心に全社戦略・事業戦略の立案、中期経営計画の策定、ステークホルダー対応等の各種経営支援業務のほか、IGPI100%出資により設立された（株）みちのりホールディングスにて公共交通事業会社の経営に従事。2012年4月関東自動車（株）取締役専務執行役員、2016年12月東野交通（株）取締役専務執行役員に就任し、2018年10月両社合併。2021年6月関東自動車（株）代表取締役社長に就任し、2025年1月より現職。



パネリスト

山下裕子（やました　ゆうこ）

まちなか広場研究所主宰

2007年に開業した富山市まちなか賑わい広場「グランドプラザ」のスタッフを経て、2014年から“ひと・ネットワーククリエイター”として活動開始。地域の余地を“用がなくても日常的にそこに行こう”と感じられるような機運醸成づくりの際に、地元の伴走者的立ち位置で活動中。2009年（財）地域活性化センター第21期全国地域リーダー養成塾修了。2011年からNPO法人GPネットワーク理事。2013年から全国まちなか広場研究会理事。2023年から“アートと都市と公共空間研究会”メンバー。著書に『にぎわいの場 富山グランドプラザー稼働率100%の公共空間のつくり方』（学芸出版社、2013年）、『コンパクトシティのアーバニズム』（東京大学出版会、2020年、共著）、『生きた景観マネジメント』（鹿島出版会、2021年、共著）。



パネリスト

青山　剛（あおやま　たけし）

北海道室蘭市長

1977年生まれ。室蘭工業大学で都市計画を専攻し、2002年同大学院修了。室蘭工業大学助手を経て、2003年室蘭市議会議員に初当選。2011年には室蘭市長に就任し、現在4期目。博士（工学）。「住み続けたいまち室蘭」の実現に向け、持続可能なまちづくりに取り組んでおり、2018年には国土交通省の「地方再生コンパクトシティ」のモデル都市として、室蘭市が北海道で唯一選定される。特徴的な取り組みとして、人口減少が進んでいる室蘭駅周辺地区のハード整備と商店街の魅力向上、回遊性や総合プロデュース力向上等のソフト事業をかけ合わせることで、交流人口の拡大や地区の稼ぐ力の向上につなげ、賑わいの再生を目指している。



パネリスト

伊木隆司（いぎ　たかし）

鳥取県米子市長

1973年米子市生まれ。1996年に中央大学商学部会計学科卒業後、同年、太田昭和監査法人（現EY新日本有限責任監査法人）に入社。2000年に公認会計士登録し、2002年に伊木公認会計士事務所を開設。2015年米子商工会議所青年部会長。2017年に市長就任後、少子高齢化や、人口減少が進む中、「米子市まちづくりビジョン」を策定。2019年に「ウォーカブル推進都市」となり、2023年に「がいなロード（米子駅南北自由通路）」を整備。まちなかにおける「歩いて楽しいまちづくり」の推進や、市域全体の公共交通の再構築などを通じ、まちなかと郊外の一体的な発展を目指す。現在3期目。全国市長会副会長。

第87回 全国都市問題会議
参加者名簿

期 日：令和７年10月９日（木）・10日（金）

会 場：ライトキューブ宇都宮（宇都宮駅東口交流拠点施設）

（主 催）

全国市長会
公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所
公益財団法人 日本都市センター
宇都宮市

（協 賛）

公益財団法人 全国市長会館

都道府県	都市名（団体名）	職　名	氏　名
	ふじみ野市議会	議員	田中　早苗
	ふじみ野市議会	議員	川島　秀男
	ふじみ野市議会	議員	鈴木　美恵
	ふじみ野市議会	議員	民部　佳代
	ふじみ野市議会	庶務係長	田代　弘太
	白岡市	市長	藤井　栄一郎
	白岡市	企画政策課長	小林　知史
	白岡市	企画政策課秘書室室長	長島　紀彦
	白岡市議会	議員	細井　藤夫
千葉県			
	銚子市	市長	越川　信一
	銚子市	秘書広報課長	垣沼　孝一
	銚子市議会	議員	地下　誠幸
	木更津市	市長	渡辺　芳邦
	松戸市議会	議員	岡本　ゆうこ
	旭市	市長	米本　弥一郎
	旭市	課長	寺嶋　和志
	習志野市	市長	宮本　泰介
	習志野市	政策経営部次長	篠宮　淳一
	習志野市議会	議長	相原　和幸
	習志野市議会	事務局長	海老原　智実
	勝浦市議会	議長	戸坂　健一
	勝浦市議会	事務局長	軽込　一浩
	市原市	市長	小出　譲治
	市原市	政策秘書課長	浪川　聡子
	市原市議会	議長	伊佐　和子
	市原市議会	議員	浜中　吾郎
	市原市議会	庶務課長	大野　哲
	流山市	副市長	石原　重雄
	流山市	まちづくり推進部長	梶　隆之
	流山市	交通計画推進室長	高梨　直樹
	流山市議会	議員	川本　大岳
	富津市	市長	高橋　恭市
	富津市	秘書広報課長	花田　康宏
	富津市議会	議員	平野　明彦
	富津市議会	議員	平野　英男
	富津市議会	議員	諸岡　賛陛
	富津市議会	議員	三富　敏史
	富津市議会	議員	白井　義夫
	富津市議会	議員	渡辺　純一
	四街道市	市長	鈴木　陽介
	四街道市	秘書課係長	秋山　祐紀
	袖ケ浦市	市長	粕谷　智浩
	袖ケ浦市	秘書広報課長	長谷川　操
	袖ケ浦市議会	議長	小国　勇
	袖ケ浦市議会	議員	在原　直樹
	袖ケ浦市議会	議員	伊東　章良
	袖ケ浦市議会	議員	髙橋　大志
	袖ケ浦市議会	議員	稲毛　茂徳
	袖ケ浦市議会	議員	根本　駿輔

第87回 全国都市問題会議

成熟社会の都市のかたち
～コンパクトで持続可能なまちづくり～

［主催］
全国市長会
後藤・安田記念東京都市研究所
日本都市センター
宇都宮市
［協賛］
全国市長会館



会計補助書類　第1号様式

旅費等支出内訳書

NO. 04

研修費　　会派・交付議員名：流政会

実施日	令和8年2月5日　※令和8年2月4日は岩沼市、令和8年2月6日は富谷市にて行政視察を実施
場所及び視察項目	株式会社LPD「TakeshitaCommomまちづくり視察」(宮城県岩沼市)
参加者名	近藤みほ　小沢えみり　川本大岳　渡辺仁二　坂巻儀一　笠原久恵　青野直　石原修治 ※石原修治議員は議長公務のため研修後に帰宅
費用合計	242,510円

※行政視察.

日付	項　目	内容(経路、等具体的に)	内訳			領収証(証憑)番号	備　考
			単価	数	金額		
R8.1.16	交通費	仙台→大宮(石原)	10,670円	1	10,670円	調査研究費分 ①－2	石原分 議長公務のため
R8.2.4	宿泊費	ホテルルートイン名取岩沼インター	8,300円	8	66,400円	①	
R8.2.5	交通費	宿泊先→株式会社L・P・D(タクシー)	950円	1	950円	②－1	他の公共交通機関がないため
R8.2.5	交通費	宿泊先→株式会社L・P・D(タクシー)	850円	2	1,700円	②－2	他の公共交通機関がないため
R8.2.5	交通費	株式会社L・P・D→竹駒の杜(タクシー)	750円	3	2,250円	③－1	他の公共交通機関がないため
R8.2.5	交通費	竹駒の杜→岩沼駅(タクシー)	1,250円	1	1,250円	③－2	他の公共交通機関がないため
R8.2.5	交通費	竹駒の杜→岩沼駅(タクシー)	1,050円	2	2,100円	③－3	他の公共交通機関がないため
R8.2.5	交通費	岩沼→仙台	330円	8	2,640円	④	
R8.2.9	参加料	株式会社LPD 「TakeshitaCommomまちづくり視察」	154,000円	1	154,000円	⑤－1	
R8.2.9	手数料	振込手数料	550円	1	550円	⑤－2	

①-2（調査研究費分 1）

領　収　証

2026年 1月16日

流政会 様

金172，120円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

新松戸801 No.000003

①-4

払戻計算書

商品名　：　JR乗車券類　　枚
原券金額　：　¥10,870- 税10%
払戻対象額　：　¥10,870- 税10%

手数料　：　¥560- 税10%
払戻額合計　：　¥10,310-　　使用開始日：2026.-2.-6
〔現金扱い〕

原券購入日：2026.-1.16
東日本旅客鉄道㈱(T9011001029597)
2026.-2.-3 14:31　00196-01　新松戸駅ＦＮ１発行

①-1
2/4　8名
@10,670×8＝85,360円

①-2
2/5　1名
@10,670×1＝10,670円

①-3
2/6　7名
@10,870×7＝76,090円

※①-2は研修費に計上
（2日研修後の帰路（石原）分の下車）

領収書①（ＪＲ東日本領収書）　金額内訳

	利用日	区間	単価	数量	金額	備考
①－1	R8.2.4	大宮⇒仙台⇒岩沼	10,670円	8	85,360円	
①－2	R8.2.5	仙台⇒大宮	10,670円	1	10,670円	研修費として計上 （旅費等内訳書 No４）
①－3	R8.2.6	仙台⇒大宮	10,870円	7	76,090円	

合計　172,120円

YAHOO! JAPAN 路線情報

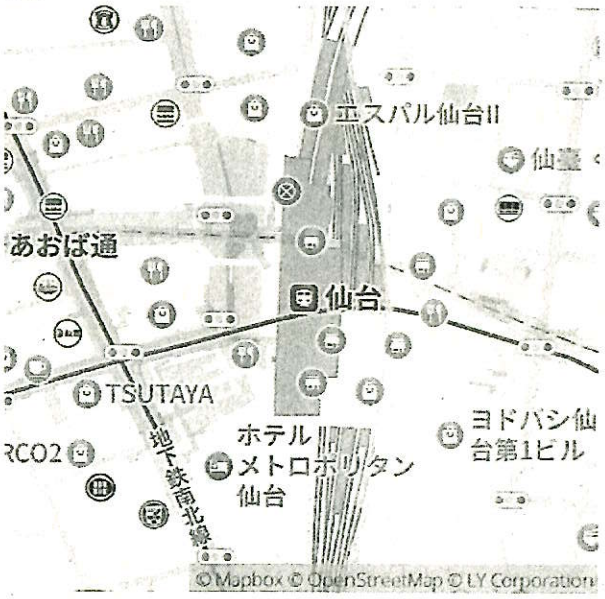
仙台→大宮(埼玉県) 2026年02月05日(木)14:57出発

14:57発→16:07着　1時間10分(乗車1時間10分)　乗換：0回　321.5km

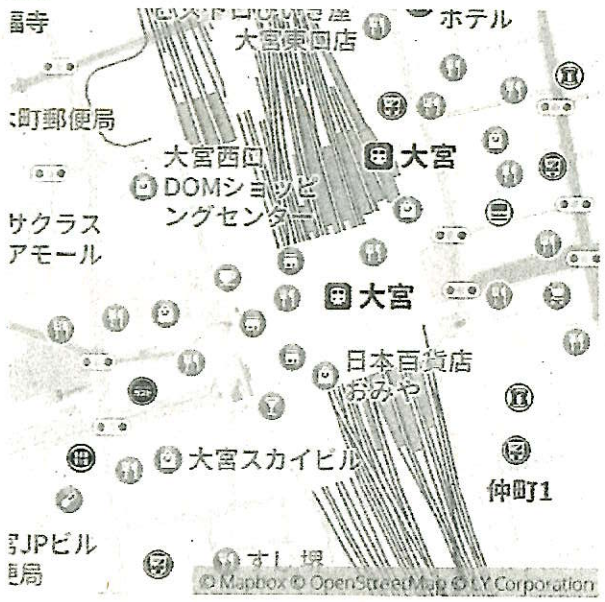
㊟ 現金優先：10,670円（乗車券5,720円　特別料金4,950円）

14:57	発	仙台		
		ＪＲ新幹線はやぶさ22号 東京行 [発] 13番線 → [着] 情報なし	指定席：4,950円	5,720円
16:07	着	大宮(埼玉県)		

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



(1)

領収書

No.000483414 HOST　　26/02/04 15:05
登録番号：T7100001039005

[チェックイン]

部屋No. 351

ご利用日 2026/02/04

お名前 流山市議会流政会　様

ご請求額　　66,400円

上記金額を領収致しました

ホテルルートイン名取岩沼インター
宮城県名取市堀内字北竹146-1
TEL 050-5847-7501
FAX 0223-25-2912

印紙税申告納
付につき上田
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
作成地：長野県上田市中央３丁目８番７号

◆ご利用部屋明細◆

ご請求額		66,400円
室料		64,000円
宿泊税		2,400円
(10%税込	対象合計	64,000円
	内消費税	5,818円)
ご入金額		66,400円(現金)

(2)

(2)-1

領　収　書

No.0015

日付 '26年02月05日
車番　000809　000
メータ運賃　¥950円

合計　¥950円

上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4-32
TEL 0223-24-1121

(2)-2

領　収　書

No.0006

日付 '26年02月05日
車番　000805　000
メータ運賃　¥850円

合計　¥850円

上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4-32
TEL 0223-24-1121

(2)-2

領　収　書

No.0006

日付 '26年02月05日
車番　000827　000
メータ運賃　¥850円

合計　¥850円

上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4-32
TEL 0223-24-1121

③-1

領　収　書

No.0009

日付　'26年02月05日
車番　000827　000
メータ運賃　¥750円
合計　¥750円
上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4－32
TEL 0223-24-1121

③-1

領　収　書

No.0008

日付　'26年02月05日
車番　000815　000
メータ運賃　¥750円
合計　¥750円
上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4－32
TEL 0223-24-1121

③-1

領　収　書

No.0009

日付　'26年02月05日
車番　000805　000
メータ運賃　¥750円
合計　¥750円
上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4－32
TEL 0223-24-1121

③-2

領　収　書

No.0005

日付　'26年02月05日
車番　000816　000
メータ運賃　¥1250円
合計　¥1250円
上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4－32
TEL 0223-24-1121

③-3

領　収　書

No.0002

日付　'26年02月05日
車番　000816　000
メータ運賃　¥1050円
合計　¥1050円
上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4－32
TEL 0223-24-112

③-3

領　収　書

No.0003

日付　'26年02月05日
車番　000815　000
メータ運賃　¥1050円
合計　¥1050円
上記の通り領収致しました
消費税率　10%
毎度ご乗車
ありがとうございます

稲荷タクシー有限会社
登録番号T8370002002339
岩沼市末広1丁目4－32
TEL 0223-24-1121

4

YAHOO! JAPAN 路線情報

岩沼→仙台 2026年02月05日(木)12:00出発

12:22発→12:43着 21分(乗車21分) 乗換：0回 17.6km

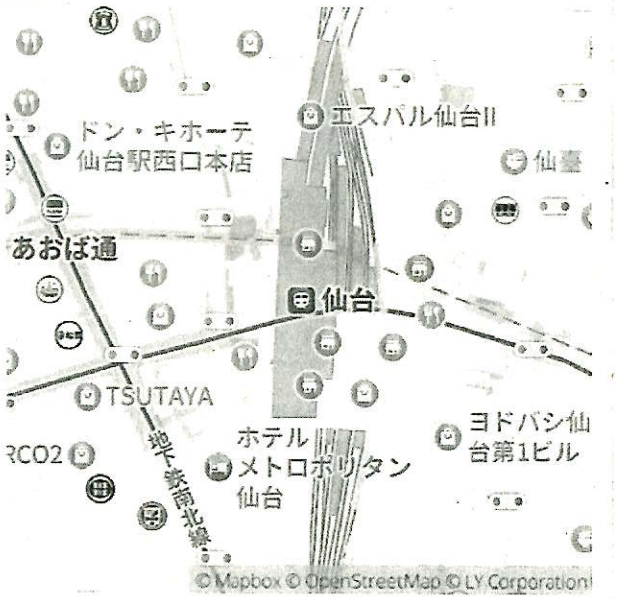
現金優先：330円 定期券 通勤：1か月 9,900円 / 3か月 28,210円 / 6か月 47,520円

12:22	発 岩沼	
6駅	ＪＲ東北本線 仙台行 [発] 情報なし → [着] 4番線	330円
12:43	着 仙台	

発 出発地の周辺地図



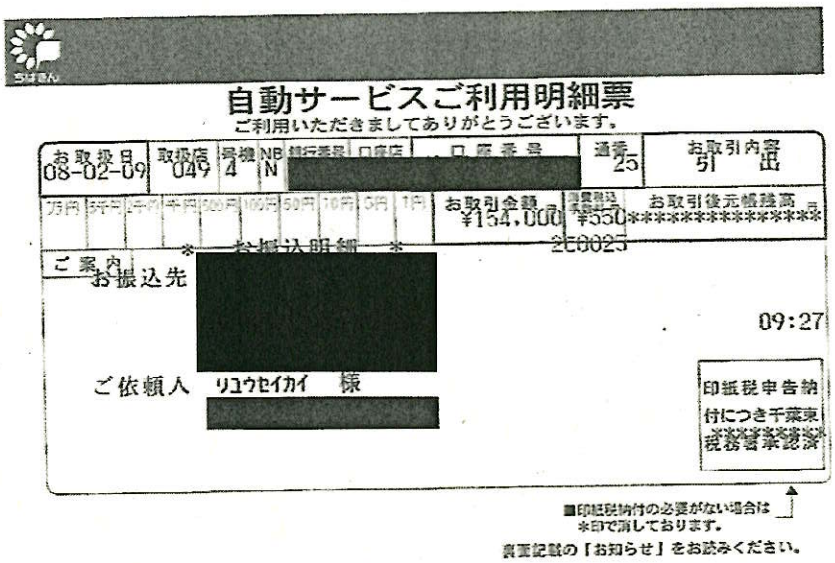
着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印 印 印 印 印

⑤-1
⑤-2



ちばぎん

自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
08-02-09	049	4	N	[redacted]			25	引出

万円	千円	千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額	消費税込	お取引後元帳残高
										¥154,000	¥550	¥***********

ご案内　＊　お振込明細　＊　2E0025

お振込先　[redacted]

09:27

ご依頼人　リユウセイカイ　様　[redacted]

印紙税申告納付につき千葉東税務署承認済

■印紙税納付の必要がない場合は＊印で消しております。

裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

⑤-1の請求書

請　求　書

NO：

発行日：　2026/2/5

流山市議会 流政会　　御中

件名：TateshitaCommonまちづくり視察

所在地：[redacted]

御請求金額（税込）　¥154,000-

品目	単価	数量	金額(税抜)
基本料金	25,000	一式	25,000
5名様以上人数追加料金（1名：5,000円（税抜））	5,000	3	15,000
オプション料金（洞口文人による施設案内及び講演1時間）	100,000	一式	100,000

合計(税抜)	140,000
消費税（10%）	14,000
合計(税込)	154,000

銀行名：[redacted]

支店名：

口座名義：株式会社　L・P・D

カ）エルピーディー

*お振込手数料はご負担をお願い致します

*2026/3/31までにお支払いをお願い致します

L・P・D architect & developer

株式会社　L・P・D

代表取締役　洞口文人

〒989-2441 宮城県岩沼市館下3丁目1-28

tel 0223-29-4830

適格請求書発行事業者：T7370001046569

令和８年２月１２日

流山市議会議長　　様

会派名　流政会
代表者名　近藤　みほ

議員研修について

このことについて、下記のとおり研修を実施しましたので、報告します。

記

１　視察期日　　令和８年２月５日（木）

２　研 修 地
宮城県岩沼市館下３丁目１－２３　株式会社L・P・D

３　研修事項
株式会社L・P・D「TakeshitaCommomまちづくり視察」

４　参 加 者
近藤みほ　小沢えみり　川本大岳　渡辺仁二　坂巻儀一
笠原久恵　青野直　石原修治

５　研修報告
（１）目的
元仙台市職員としてリノベーションまちづくりを牽引し、現在は独立して自社投資型の不動産開発を行う洞口文人氏の事例から、「請負（フロービジネス）」から「投資・事業（ストックビジネス）」への転換、および真に機能する公民連携のあり方を学ぶ。
（２）プロフィール
洞口 文人 氏（株式会社L.P.D 代表取締役）
元仙台市職員。定禅寺通の活性化（パブリックマーケット）や学校

の断熱改修を推進。独立後、建築設計・コンサルティングに加え、自社での不動産投資・宿泊サウナ運営を開始。「クライアントビジネス（下請け）」からの脱却を掲げ、自ら主導権を持つ「村づくり型不動産開発」を提唱。

（３）主な学びと事業のポイント

①ビジネスモデルの転換：主導権を取り戻す

従来の建築・コンサル業務は、顧客の顔色を伺い、価格を叩かれる「フロービジネス」になりがちであった。洞口氏はここから脱却し、自らが「開発者（オーナー）」となることで、以下のポートフォリオを構築している。

事業内容	狙い
建築設計	本業の技術力を維持
コンサル	行政や他団体へのノウハウ提供
不動産投資	自社物件による安定収益と実験
宿泊・サウナ	交流人口の創出とエリアの付加価値化

②「岩沼」という場所での戦略（消極的選択から積極的選択へ）

岩沼市は「仙台より安いから」という消極的な理由で選ばれる傾向にあった。洞口氏は、仙台市内と同額の家賃でも「圧倒的なクオリティ」を提供することで、ブランド価値の逆転を狙っている。

・断熱の価値化：法律義務化を待たず、最高レベル（G3相当）の断熱性能を実装。「快適さ」を売りにする。

・デザインコードの徹底： 外壁への照明ルール（白い光の禁止）、生活感を隠しつつ街に開くロールカーテンの標準装備など。

・DIYとプロの使い分け： 大工に任せる部分とDIYを分け、コストを抑えつつ愛着と個性を生む。

③独自の公民連携論：行政を「口説く」

「行政と連携すること」自体が目的ではない。洞口氏は、行政マンとしての経験から、以下の厳しい現実と理想を提示している。

「いい民間は、いい公務員が口説き落とすべきもの」

お金（予算）だけ持っていて魅力のない行政が、公募を出しても良い民間は来ない。民間側も投資をしている以上、信頼に足るパートナー（公務員）を選別している。

保健所を突破する行政： 民間の面白いアイデアに対し、「前例が

ない」「保健所が…」と止めるのではなく、一緒に調整に動く行政マンこそが連携の鍵となる。

希少性の掛け合わせ：「尖った行政マン × 尖った民間人」の掛け合わせが、その地にしかない風景を作る。

（4）現場で見えた「村づくり」の具体策

・公園の民間管理：行政が管理しきれない隣接する公園用地を、自費で整備・管理。行政による管理よりも美しく、エリア全体の価値向上に直結している。

・「人」のフィルタリング：築70年の古民家を二世帯住宅や地続きの賃貸マンションに再生。単に貸すのではなく、「この人に住んでほしい」という人を選び、コミュニティの質を担保する。

・子育て環境の重視：物件の魅力だけでなく、保育園の空き状況などのソフトインフラが移住の決め手になるという現実。

（5）総括

今回の視察で最も印象的だったのは、「建物をつくることは手段であり、目的は暮らしの豊かさをデザインすること」という姿勢です。

不動産を単なるハコ（土地・建物）として見るのではなく、そこに住む人のライフスタイル、隣接する公園の美しさ、さらには夜の街並みの光までをコントロールする。その一貫した美学が、知名度の低かったエリアを「わざわざ選ばれる場所」へと変貌させていました。

「誰かの依頼を待つ」のではなく、「自分が作りたい景色」のために投資し、そこに必要なルール（デザインガイドライン）を自ら課す。この「当事者意識を持った不動産開発」こそが、今後の地方都市再生における突破口になると感じました。

TateshitaCommonまちづくり視察

<料金>

・基本料金　25,000円(税別)（５名様まで）
※５名を超える場合は、一人 +5,000円(税別)

＊当日のキャンセルはキャンセル料(100%)が発生いたします。

・オプション
洞口文人による施設案内及び講演(1時間)　+100,000円（税別）

<視察内容>

施設概要説明	15分
質疑応答	15分
エリア内視察	60分　含む　合計 90分間

＊上記 時間配分についてはご相談をお受けします。

<洞口文人の講演内容>

- 複合古民家実験住宅(築67年)/古民家活用について、環境性能の高いリノベーション
- TateshitaCommon / 民地の公有地(公園)の一体的活用について
- apartmentBEAVERの環境性能(HEAT2020 G2達成の賃貸集合住宅)、コミュニティマネジメント
- TateshitaShare / コワーキングスペース
- エリアマネジメント（エネルギーの木質化、マルシェ、エリア自治）

会計帳簿　第４号様式

広報費

広報費支出合計　3,243,157円

年月日	内　　容	金額	領収書番号	備考
R7.8.20	流政会だより　70号	637,782円	①	
R7.12.9	流政会だより　71号	966,262円	②	
R8.3.10	流政会だより　72号	645,990円	③－１	
R8.3.10	振り込み手数料	220円	③－２	
R8.3.30	流政会だより　73号	992,683円	④－１	
R8.3.30	振り込み手数料	220円	④－２	

広報費①

①

No

領　収　証

7年 8月20日

流政会　様

金額 ¥637,782-



但し 流政会だより Vol.70 折下前半・印刷
上記の金額正に領収いたしました (エピぬーる代として

内訳
税抜金額
消費税額
摘要

No. T6040001041430
SOL sales promotion
ソル・セールズプロモーション株式会社
〒270-0176 千葉県流山市加1-1569
TEL. 04-7159-5003　FAX. 04-7159-5115

①の請求書

御請求書

発行日　2025 年 8 月 4 日

流　　政　　会　　御中

下記の通り御請求申し上げます。

御請求額合計　¥637,782（税込）円

ソル・セールズプロモーション株式会社
千葉県流山市加 1-1569 〒270-0176
tel.04-7159-5003 fax.04-7159-5004

登録番号 T6040001041430

＜明　細＞

No.	品　名	単価	数量	計	備　考
1	【流政会だより Vol.70】				
2	版下制作	50,000	1	50,000	
3	印刷 B4サイズ　両面カラー/コート70.5kg	3.80	74,620	283,556	別途印刷予備400部
4	ぱど　折込　B4サイズ	3.30	74,620	246,246	
5	流山・新松戸版　8/1号				
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

小　計	579,802
消費税(10%)	57,980
合　計	637,782

■振込先

[redacted]

特記事項	恐れ入りますが振込手数料はお客様のご負担でお願い申し上げます。

流政会だより Vol.70



代表 **近藤みほ**
（おおたかの森南在住）

- 市民経済委員会
- 議会運営委員会 副委員長

職員力を活かす行政・児童センター活用強化

一般質問と回答は以下のとおりです。

①職員の採用・離職の課題に対応するためのハラスメント対策 ●市役所で働く職員へのハラスメント実態調査【**実施**】●窓口対応における迷惑行為を防ぐ啓発ポスター掲示【**実施**】●不当な要求への対応強化【**国の方針に合わせて実施**】 **②改訂された人材育成基本方針について** ●目指すべき職員の姿が伝わっていない点を【**指摘**】●職員のやる気や働きやすさに関する調査【**実施**】 **③おおたかの森児童センターについて** ●地域で支え合う仕組みの評価項目づくりを【**実施**】●キッチンを地域団体にも貸せるよう条例改正を【**前向き検討**】



幹事長 **渡辺仁二**
（加在住）

- 総務委員会 委員長
- 議会運営委員会

自動運転バスを流山に

今定例会では、**ほっとプラザ下花輪・自治会運営の活性化と担い手確保に向けたICT活用支援・流山市における地域交通の未来像と自動運転バスの導入可能性**について一般質問を行いました。ほっとプラザ下花輪については故障中のドライサウナの状況の確認と、市外利用者の増加に伴う料金見直しを提案。自治会会員への情報発信ツールとしてデジタルインフラ導入への補助を提案。市内ぐりーんバスの減便の理由として「バス運転手の担い手の減少」が挙げられていますので、自動運転バスの導入について提案をしました。今後も未来を見据え提言を続けてまいります。**エアコンを上手に使って健康を守りましょう!**



小沢えみり
（木在住）

- 市民経済委員会 副委員長

動物介在教育の導入とふるさと納税について

今回の一般質問では、こどもたちが動物とのふれあいを通じて、命の大切さや思いやり、責任感を育むことができる「動物介在教育」の導入を提案しました。動物との関わりを通じて、教室では得られない豊かな学びが生まれるこの取り組みを、民間や地域の力を借りながら、各学校から要望があれば実現できるよう体制の整備を求めました。

また、ふるさと納税については、寄附金の使い道や返礼品の魅力を市民や寄附者にもっとわかりやすく伝え、市外からも「応援したい」と思ってもらえるような発信や、参加企業を増やせるような仕組みづくりの強化を要望しました。



議長 **石原修治**
（東初石在住）

- 都市建設委員会

部活動の地域移行から地域展開へ

国が示した「教職員の働き方改革」を基に、令和元年に部活動の地域移行基本方針を示しましたが、全国的になかなか進展しない状況下にあります。その理由として教職員の兼職兼業、指導者の確保や保護者の負担などがあり、私も数回にわたり一般質問で取り上げてきました。その中で、今定例会の教育福祉委員会の協議会において、具体的な流山市基本方針が示されました。今回の重要ポイントは、運営団体の役割や各団体が一体となっての展開モデルが示され連携が始まっており、今後、保護者の方々への説明会が計画されていることです。児童・生徒たちにとってより良い地域展開となるよう、今後も注視していきます。



川本大岳
（南流山在住）

- 都市建設委員会 副委員長
- 議会広報広聴特別委員会

南流山駅周辺のまちづくりについて

南流山駅周辺の再整備事業について一般質問を行い、以下の点などについて確認いたしました。

①令和7年度は基本計画を作成、令和8年度は基本設計、令和9年度は詳細設計を実施する予定。②駅前ロータリーの改修工事は、市が公共工事として実施。③駅ビル建設は考えていない。④自転車駐車場の収容台数は4，428台で市内のTX沿線で最も多いが、不足傾向であることを認識しており、引き続き施設整備に努めていく。

なお、一般質問は流山市議会HP（右のQRコード）からご視聴いただけます。



笠原久恵
（前ケ崎在住）

- 教育福祉委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会

4期目の後半は教育福祉委員会になりました。

1期目以来に教育福祉委員会になりました。

今定例会では、いじめ対策調査会の委員の上限人数増員と、いじめを受けた児童等及びその保護者が同調査会によらない調査を希望するときは、教育委員会が直接調査を実施することを可能とする条例改正の議案を審査し、いじめに対するきめ細やかな対応を求めました。

総務委員会では、名都借跨線橋道路拡幅改良事業に対する補正もあり地元の課題についても引き続き取り組んでまいります。



坂巻儀一
（東深井在住）

- 総務委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会

利根運河エコパーク関連事業について

前期2年間は議長公務のために、2年半振りの一般質問となりました。利根運河眺望の丘周辺整備については、議員就任当初から一般質問を通し、指摘・要望を展開して参りました。

今定例会の一般質問により、昨年度からの工事が諸事情により遅れてはいましたが、今年度末までには当該地域に待望の人道橋と観光トイレが新設され、供用が始まる予定との答弁がありました。

市民の皆様にとってより利便性に富んだ利根運河の憩い空間と夢が拡がりますことを期待いたします。



青野　直
（流山在住）

- 教育福祉委員会

江戸川の観光化・高齢者施策・流山本町の地域公共交通

令和7年第2回定例会が6月19日（木）から7月9日（水）までの21日間開催されました。

今回の一般質問では、

1．江戸川の観光を軸とする地域活性化について
2．独居高齢者にやさしい施策について
3．流山本町における地域公共交通の充実についての3点について、当局の見解を質しました。

いずれも重要な施策と考えておりますことから、地域の活性化と高齢者施策等に今後も全力を挙げて取り組んでいかなければならないと考えています。

最近の活動の様子



会派懇談会



小牧市議会における視察



「流政会」とは

建設的な政策立案、提言を行い実現する事を目的とし、市民生活の向上を目指す会派。

発行 流山市議会「流政会」　発行責任者 近藤みほ

流山市平和台1-1-1（流山市議会 議会事務局）
04-7150-6099
nagareyamasigikai.ryuseikai@gmail.com

会派の活動を随時発信中!!
https://www.facebook.com/nagareyamaryuseikai

都心から一番近い森のまち
流山市 Nagareyama City

流山市議会

流政会だより

令和7年7月26日発行

年4回発行
通巻 Vol.70

-contents-

☑ 陳情第9号 学習者の声を教育政策に反映させることを求める陳情書
☑ 請願第1号 「食料自給率向上都市宣言」を求める請願書
☑ 議案第53号 市道路線の認定について
☑ 議案第39号 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

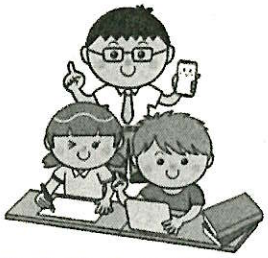
陳情 陳情第9号 学習者の声を教育政策に反映させることを求める陳情書

■ 教育福祉委員会　青野直　笠原久恵

この陳情は、現役の生徒からの現場の声でとても貴重な陳情であり、勇気ある行動として称賛したいと思います。

項目としては、1の(1)から6の(1)まで多岐にわたっていて流山市としても市負担での学習サポート教員、介添員、スクールアシスタントなどの配置や教員の年1回のストレスチェックも行い職場環境にも気を配っている。令和3年度から小中学校児童生徒にタブレット端末を配布。オンラインドリルも導入し、英語教育にも力を入れている。そのほか、陳情者は生徒がさらに意思決定に参加できることや国内留学、始業時間の見直しを提案している。このことについては検討するとの答弁がありました。

流政会としては、学校に政治家を招待することに、一義基本法によって難しいとのことであり、この項目についてのみ反対としました。流山市は、さまざまな課題について努力していることについて、質疑や市の見解で確認できましたが、現役世代の現場の声として応援したいと考えます。そのことから1項目以外についての採択の立場で討論いたしました。



そして1点要望いたしました。政治家を学校へ呼ぶことについては難しい状況だが、今行っている議会の傍聴に生徒を参加する機会をさらに広めていただきたいことを要望いたしました。

請願 請願第1号 「食料自給率向上都市宣言」を求める請願書

■ 市民経済委員会　近藤みほ　小沢えみり

不採択の立場から討論しました。

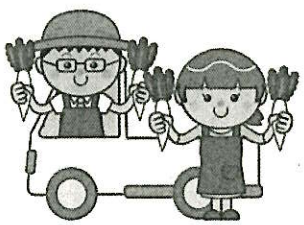
まず、請願で示されている「食の安全」や「地元農業を大切にしたい」という思いには、私たちも深く共感しています。地産地消の推進や、こどもたちへの食育、農業体験を通じた学びは、これからの時代に必要不可欠なものであり、課題提起をしてくださったことに感謝申し上げます。

一方で、請願で求められている「食料自給率向上都市宣言」には、その実効性に課題があり、現時点では慎重な判断が必要だと考えました。市内では農地や担い手の減少が進み、農業の維持が難しくなっています。また、食料自給率は市単位では正確に把握しにくく、成果の見えにくい施策となる可能性があります。

さらに、食料自給率を高めるには市民の消費行動も重要ですが、「価格の安さを重視する」という傾向が根強く、収益性の確保も難しい状況です。

現在、流山市では地場産食材の学校給食への活用や、農業体験、食育などが既に行われています。私たちは、こうした取り組みをさらに広げ、農家の方々と連携して、楽しみながら学べる体験型の活動を充実させることが、持続可能な地域農業につながると考えています。

以上の理由から、現時点での食料自給率向上都市宣言には賛同できず、不採択といたしました。



賛成 議案第53号 市道路線の認定について

■ 都市建設委員会　石原修治　川本大岳

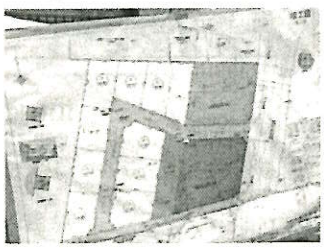
都市建設委員会では、新たに市道となる路線の認定議案を定期的に審査しています。今定例会に提出された議案第53号では、7路線の認定が審査対象となりました。審査に先立ち、委員は実際に現地を訪れ、状況を確認します。今回は7路線のうち3路線を視察し、そのうち「野々下3丁目区画52号線（60052）」では、担当課職員が図面を用いて説明を行いました。

今定例会では委員会メンバーの改選があったため、今後の審査で不可欠となる「道路認定の基準」について質疑を行いました。新規に市道を認定する際の主な基準は、次のとおりです。

■宅地開発行為によって新設され、市に帰属される道路
「流山市開発事業整備基準」を満たして整備されていること

■公共事業によって新設される道路
「道路法に基づく道路構造例」に適合していること、千葉県警察本部との協議検査により交通安全上の協議が整っていること

これらの条件を満たしたうえで、議会の審査を経て市道として認定されるとの答弁を得ました。



※右の写真は現地で説明を受けた際の図面です。

賛成 議案第39号 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

■ 総務委員会　坂巻儀一　渡辺仁二

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億3528万9千円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ856億4728万9千円とするものであります。

そして債務負担行為補正としてJR東日本設計協定業務委託事業、ジェトロ跡地公共施設賃貸借事業、博物館空調設備賃貸借事業が追加されました。着目点としては、ジェトロ跡地公共施設賃貸借事業が令和7年度から令和39年度を期間として16億8404万5千円以内と消費税及び地方消費税の合計が限度額として追加されました。

この事業は、江戸川台の旧ジェトロ跡地を有効活用し、地域の公共サービス機能を再編・集約することにより、行政の効率性向上と市民サービスの質的向上を同時に実現しようとするものです。老朽化した既存施設の代替として、安全性・利便性を考慮した新たな公共施設を整備し、今後の人口動態や地域課題に対応していく方針であり、また、整備にあたっては賃貸借方式を採用して初期投資を抑えつつ機動的な施設整備が可能となり、財政負担の軽減にも資すると考えます。市民にとって身近なサービス拠点が新たに効率的に整備される点を高く評価し賛成としました。



(2)

ちばぎん

自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
07-12-09	126	3	N	[redacted]			64	引出

万円	千円	百円	十円	一円	お取引金額	円	消費税込手数料	円	お取引後元帳残高	円
					¥966,262		¥0		**********	

ご案内　＊　お振込明細　＊　2C0064

お振込先　[redacted]

様

11:00

ご依頼人　ﾅｶﾞﾚﾔﾏｼｷﾞｶｲ ﾘﾕｳｾｲｶｲ [redacted]

[redacted]

様

印紙税申告納付につき千葉東税務署承認済

＊印紙税納付の必要がない場合は＊印で消しております。

裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

②の請求書

[redacted]

発行日 2025年11月30日

流　政　会　御中

下記の通り御請求申し上げます。

御請求額合計 ¥966,262 (税込) 円

ソル・セールズプロモーション株式会社
千葉県流山市加 1-1569 [redacted]
tel.04-7159-5003 fax.04-[redacted]
登録番号 T6040001041430

<明 細>

No.	品　名	単価	数量	計	備　考
1	【流政会だより Vol.71】				
2	版下制作	50,000	1	50,000	
3	印刷 B4サイズ 両面カラー/コート70.5kg	4.02	78,740	316,535	別途印刷予備400部
4	ポスティング B4サイズ	7.00	78,740	551,180	
5	二つ折り加工	1.00	78,740	78,740	
6	出精値引	▲ 1.50	78,690	▲ 118,035	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

小　計	878,420
消費税(10%)	87,842
合　計	966,262

■振込先

[redacted]

特記事項	恐れ入りますが振込手数料はお客様のご負担でお願い申し上げます。

流政会だより Vol.71



代表 **近藤みほ**
（おおたかの森南在住）

- 市民経済委員会
- 議会運営委員会 副委員長

行政効率化・環境・教育―5つの政策提案

一般質問では5点を取り上げました。**国・県からの照会業務**は、令和7年度8月末時点で月平均6.431件に達し、令和5年度と比べ約2倍に。実態を国・県に伝えることを要望。**ヒートアイランド対策**では、高断熱・高気密住宅の推進の着実な進捗を確認（国の補助と市の補助を組み合わせた支援のもと）、地元工務店との連携によるメリットを提案。**民有樹林地におけるナラ枯れ発生**については、酷暑の影響や所有者による維持管理の困難さを共有し、つくば市の森林バンク制度などを提案。**教員の働き方改革、教員不足対策**についても、これまでの取組を踏まえ前進策を提案。**すべて前進の方向**です。



幹事長 **渡辺仁二**
（加在住）

- 総務委員会 委員長
- 議会運営委員会

住み続ける価値の高いまちづくりにむけて

今定例会では市全体として住環境の価値を損なわないため、最低敷地面積の制限を市内全域に設けてはどうか、また自治会加入促進のために不動産関連団体との協定を結んではどうか。との質問をし、市からは「今後取り組む」との回答を得ました。また熱中症対策としてクーリングシェルターや涼み処の整備について質問し、市としても引き続き取り組んでいく方針を確認。なお、第70号流政会だよりにおいて**「ドライサウナ」**と記載しましたが、正しくは**「ミストサウナ」**であり、お詫びして訂正いたします。**今定例会においてミストサウナの更新工事請負費が補正予算として可決されたことをご報告いたします。**



小沢えみり
（木在住）

- 市民経済委員会 副委員長

こどもたちの未来のために

4月から始まった**「こどもの体験制度」**の状況を確認し、こどもが家族と過ごす時間や体験を通じて学ぶ意義を再確認し、取得日数を3日から5日へ拡大するよう要望しました。次に、夏休みや放課後の**こどもの居場所**について民間団体への**支援の強化**を求めました。安心して通える選択肢を増やすことで、保護者の負担軽減とこどもの健やかな成長につなげたいと考えています。さらに、人口増加という流山市の強みを活かし、**「企業版ふるさと納税」**を活用して教育や子育て支援の財源を確保するよう提案しました。市長や教育長からも前向きなご答弁をいただきました。



議長 **石原修治**
（東初石在住）

- 都市建設委員会

狭隘な歩道にある「植樹帯」のあり方について

決算審査特別委員会の中で、みどりの維持管理事業について「狭隘な歩道の植樹帯」に対する質疑がありました。私も令和4年第2回定例会の市政に関する一般質問において、「東初石3丁目交差点周辺の狭隘な歩道へ植樹帯が設けられていることから、植樹帯のあり方を見直すべき」と取り上げました。現在も近隣自治会と協議を重ねていますが、歩行者の安全性を最優先すべきと考えています。他の地域からも同様の意見・要望が出ているとのことで、今後、担当部局と関係する自治会で現地確認などを行いながら、狭隘は歩道の道幅の確保に取り組んでいきます。



川本大岳
（南流山在住）

- 都市建設委員会 副委員長
- 議会広報広聴特別委員会
- 決算審査特別委員会

ミニバスケットボールのルール変更について

ミニバスケットボールが、大人と同じリングの高さやボールの大きさ、3ポイントルールが導入されるというルール変更について取り上げました。

市担当課から協会や県に確認したところ、近々でのルール変更予定はないとのことでした。ただし、変更があった場合でも、市内のミニバスケットボールチームが安心して活動できるよう、市内のチーム数や小学校のリングの基数等を確認すると共に、市担当課に今後の動向注視を要望いたしました。



笠原久恵
（前ケ崎在住）

- 教育福祉委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会

令和7年第3回定例会で一般質問しました

1．在宅療養における多職種連携のためのカナミックについて　2．消防行政について①東部地区の立入検査を受けていない工場における危険物の放置について→今後は広報ながれやまでの周知や商工会議所、組合などと連携していく。②前ケ崎の火災における地元建設業などとの連携について→火災原因調査や現場検証のため、重機は用いなかった。③消防士、消防団の書き対策について→消防士：クールベストの着用、交代体制と訓練で対応。消防団：交代体制。　3．小中学校体育館の断熱について（＊広報ながれやま参照）。　4．歩道や街路樹の雑草対策について、防草砂を提案。



坂巻儀一
（東深井在住）

- 総務委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会
- 決算審査特別委員会 委員長

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業

今定例会での担当部局からの説明によると、駅前広場改修、ジェト口跡地活用、商店街整備を令和3年度から段階的に推進しています。令和5年2月にエリアビジョンを策定し、7月に改定。住民参加型ワークショップ等を通じて方向性を共有しました。ジェト口跡地では令和5年11月～令和6年12月にトライアルサウンディングを実施し、暫定利用を検証。令和7年9月に住民説明会を行い意見聴取を継続。令和7～8年度に民間事業者を公募で選定し、詳細設計へ移行。複合施設は令和9年度完成、駅前広場は令和10年度供用開始を目指す予定です。



青野　直
（流山在住）

- 教育福祉委員会

令和7年第3回定例会一般質問

令和7年第3回定例会（9月4日～10月8日）が開催されました。

一般質問にて、
1．流山市手話言語の普及の促進に関する条例施行後の施策の推進について
2．第9期流山市高齢者支援計画について
3．流山市内における幼稚園・保育施設の現状と今後の取組姿勢について
4．流山本町の公共交通の充実について

当局の見解を質しました。

最近の活動の様子



▲オンラインでの会派会議の様子



▲対面での会派会議の様子



「流政会」とは

建設的な政策立案、提言を行い実現する事を目的とし、市民生活の向上を目指す会派。

発行　流山市議会「流政会」　発行責任者　近藤みほ
流山市平和台1-1-1（流山市議会 議会事務局）
04-7150-6099
nagareyamasigikai.ryuseikai@gmail.com

会派の活動を随時発信中!!
https://www.facebook.com/nagareyamaryuseikai

流山市
都心から一番近い森のまち
Nagareyama City

流山市議会 流政会だより

令和7年11月1日発行
年4回発行
通巻 Vol.71

-contents-

☑議案第60号 令和7年度流山市一般会計補正予算（第3号）
☑議案第66号 流山市乳児等通園支援事業設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
☑陳情第17号「野々下で進行中の休耕田の埋立に関わる農地転用を許可しないように求める陳情書」
☑議案第77号 令和6年度流山市一般会計歳入歳出決算認定について

議案第60号　令和7年度流山市一般会計補正予算（第3号）

賛成

■総務委員会　坂巻儀一　渡辺仁二

今回の補正予算で特に注目すべきは、**国のGIGAスクール構想をさらに進めるための経費**です。児童生徒一人一台の端末整備は進んでいますが、真に活用するには機器更新やネットワーク環境整備、教員研修や教材の充実が不可欠です。本市の**ICT教育を進展させる重要な一歩**であり、子どもたちの学力向上や将来の人材育成につながります。

また、**脱炭素重点対策事業**も盛り込まれました。省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの活用は、環境負荷の軽減に加え、公共施設の経費削減や市民負担の軽減にも寄与します。次世代が誇れる持続可能なまちづくりの推進に資する大切な施策です。

物価高騰対策についても、**プレミアム付きデジタル商品券**の発行等を確認し賛成としました。



議案第66号 流山市乳児等通園支援事業設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

賛成

■教育福祉委員会　青野直　笠原久恵

本条例は、国からの通達であり、乳児や幼児の通園支援を目的としており、子育て世代にとって重要な施策の一つです。こどもたちが安心して通園できる環境を整備するとともに、親の負担軽減に寄与するものと評価いたします。

幼稚園・保育園・認定こども園に通っていない乳児や幼児を預かる内容ですが、流山市では、現在既にある幼稚園・保育園・認定こども園から始めるようです。

子育て世代が多い本市においては、空きのある園があまりないことから、開始直後は少人数から始めることを考えているとのことです。制度設計の詳細はこれから検討していくとのことですが、本条例の制定に賛成し、流山市の子育て支援の一層の充実を期待いたします。



陳情第17号「野々下で進行中の休耕田の埋立に関わる農地転用を許可しないように求める陳情書」

反対

■市民経済委員会　近藤みほ　小沢えみり

陳情者の「自然環境の保全」という主張には共感します。該当地域は本市の都市計画マスタープランや流山市みどりの基本計画でも重点区域に位置づけられ、環境面からも大切な地域です。

しかし、農地転用の許可は独立した行政委員会である農業委員会の権限であり、議会の採択に法的な拘束力はありません。

現地視察では、地権者が営農継続を望みながらも困難であった事情や、雑草の繁茂により生活道路が塞がれる実態も確認しました。一方、市の保全計画は地権者への周知や支援が十分でないことも課題です。

流政会としては、地権者の意向と環境保全の両立に向けた総合的な検討を行政に求め、本陳情は不採択といたしました。

議案第77号　令和6年度流山市一般会計歳入歳出決算認定について

認定

■決算審査特別委員会　坂巻儀一　川本大吾

令和6年度の一般会計決算は、歳入・歳出ともに令和5年度、令和2年度に次ぐ過去3番目の規模となりました。

まず歳入については、市税の収入済額は前年度比で約17億7千万円増、率にして約5．1％増となりました。本市のブランディング戦略による子育て世代の転入増や、物流施設の誘致等の成果が引き続き表れているものと評価いたします。調定額に対する収入割合は99．31％、前年度比＋0．13ポイントであり、市民への啓発による納税意識の向上、ならびに市税等納付コールセンターや職員による滞納整理が着実な成果を上げている点も高く評価いたします。

次に歳出では、**物価高騰対策**としての**重点支援給付金の支給**、公共交通施策ではぐりーんバス高齢者割引の補填額見直しによる収支率の改善と明確化、マタニティタクシーの制度拡充・認知度向上に伴う利用増、市民課・出張所でのキャッシュレス決済の導入など、市民生活の利便性向上に直結する事業が実を結んだ点を評価いたします。

一方で、まちづくりに関しては、3点について指摘・要望いたします。

第1に、景観と環境美化について。

まちが目に見えて美しくなることは、市民の心の在り方にも好影響を及ぼし、**「きれいだから捨てない」という行動の好循環**を生みます。引き続き啓発活動を推進するとともに、必要に応じて**たばこのポイ捨て等への罰則強化も視野に**、目に見える成果の追求を要望いたします。

第2に、みどりと自然について。

街路樹や公園管理に要する維持管理費の増大を踏まえ、中長期の財政見通しの下で、これらを単なる維持コストではなく、ウォーカブルなまちづくりやヒートアイランド対策に資する「投資」として再整理すべきです。各事業の目的を明確化し、整理・統合・連携を図るとともに、専門性の強化と、それを担う人材育成への一層の注力を図るべきことを指摘いたします。

第3に、本市のブランディングについて。

「流山おおたかの森駅前センター地区道路」の「工区完了と、これに伴う**「こもれびストリート」**の誕生については、決算的見地から、短期・長期の課題、および主目的と副次的効果について明確な答弁を得たことにより、改めて事業目的を確認できました。

もっとも、流山おおたかの森への再投資に関しては、地域限定の恩恵との誤解や指摘を招かぬよう、公共性と必要性について丁寧な説明責任を果たすことを求めます。加えて、同地域で得たブランディング効果を市内全域へ波及させる「分散投資」の観点から、**流山おおたかの森以外のエリアにおいても地域特性を生かした賑わい創出のための市民イベントへの支援を要望**いたします。





③-1
③-2

ちばぎん

自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
08-03-10	049	4	N	[redacted]			121	引出

万円	千円	千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額 円	消費税込手数料	お取引後元帳残高 円
										¥645,990	¥220	**********

ご案内　＊　お振込明細　＊　2L0121

お振込先　[redacted]　様

12:37

ご依頼人　ﾅｶﾞﾚﾔﾏｼｷﾞｶｲ ﾘﾕｳｾｲｶｲ [redacted]　様

[redacted]

印紙税申告納付につき千葉東税務署承認済

■印紙税納付の必要がない場合は＊印で消しております。
裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

③-1の請求書

御請求書

発行日　2026 年 2 月 28 日

流　　政　　会　　御中

下記の通り御請求申し上げます。

御請求額合計　¥645,990　(税込) 円

ソル・セールズプロモーション株式会社
千葉県流山市加 1-1569 [illegible]
tel.04-7159-5003 fax.04-[illegible]
登録番号 T6040001041430

＜明　細＞

No.	品　名	単価	数量	計	備　考
1	【流政会だより Vol.72】				
2	版下制作	50,000	1	50,000	
3	印刷 B4サイズ　両面カラー/コート70.5kg	3.90	74,620	291,018	別途印刷予備400部
4	ぱど　折込　B4サイズ	3.30	74,620	246,246	
5	流山・新松戸版　2/6号				
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

小　計	587,264
消費税(10%)	58,726
合　計	645,990

■振込先

[redacted]

特記事項	恐れ入りますが振込手数料はお客様のご負担でお願い申し上げます。

流政会だより Vol.72



代表 **近藤みほ**
（おおたかの森南在住）

- 市民経済委員会
- 議会運営委員会 副委員長

校則の簡素化と市民活動との協働促進を提案

令和7年第4回定例会の一般質問では①校則をホームページに公開し透明性を進めつつ、こどもたち**自らが**必要性を実感した上でルールづくりに参画できることを願い、**合理性が不明確な項目の見直し（簡素化）**、市としての基本姿勢、生徒参画の在り方、簡素化・廃止、周知体制、家庭との役割分担について、**長年聴いてきたこどもたちの声を元に質問**をしました。②市民協働を高めるため、**現行の自由提案型に加え、行政課題を共有した上で市民団体の挑戦を促す「課題提示型補助金」の試行導入**や、行政課題の改善に資する市民活動に対する既存補助金との連携強化の必要性について提案しました。



幹事長 **渡辺仁二**
（越在住）

- 総務委員会 委員長
- 議会運営委員会

4月から自転車の取り締まりが強化されます

令和8年4月の道路交通法改正により、自転車への青切符適用や側方通過方法の明確化など、市民生活に直結する規定が強化されます。本市として、改正内容の把握状況や**高校生・成人・外国人への周知方法**、通学路・主要道路の安全対策、自転車レーンの整備状況、ヘルメット着用促進策と助成の考え方を質問しました。また、消防団については、今年度の操法大会後のアンケート内容、訓練の実施状況と安全管理、市が訓練メニューを提示し選択制とする案、夏季に対応した活動服の導入、さらに試験運用中のスマートフォンアプリの活用方針について質問しました。



小沢えみり
（木在住）

- 市民経済委員会 副委員長

令和7年第4回定例会の一般質問について

今回の一般質問では、①全国的な問題である自治会加入率の低下について、加入率を上げるために**自治会活動や存在意義を分かりやすく紹介するリーフレット等の作成を要望**。②不登校支援について千葉県の補助制度を参考にし、**フリースクールに通う家庭への補助を要望**。③市野谷小学校の未来の教室は「自ら考え、他者と協力して新しい答えをつくり出す力」の育成ができ、こどもたちにとってとても良い環境なので**市内全校に整備することを要望**。④通学路の安全対策について、事故発生時の関係各所との情報共有と臨時点検の判断の**体制を整えることを要望**させていただきました。



議長 **石原修治**
（東初石在住）

- 都市建設委員会

指定管理者が変わる8スポーツ施設について

今期定例会の教育福祉委員会で議案審査された「流山市コミュニティプラザほか7スポーツ施設の指定管理者の指定について」は、帝国ビル管理協同組合に決定したことから、令和8年4月1日からコミュニティプラザの窓口で手続きなどが集約されます。流山スポーツフィールドや江戸川河川敷野球場などの整備は、草刈りや凹凸などの課題があったことから、令和8年度から草刈りは状況により増員や回数を増やすなど、指定管理者が定期的に現地を確認し、維持管理・整備に努めていく方向性が示されました。過去に一般質問で何度も取り上げたことから、今後もしっかりと注視していきます。



川本大岳
（南流山在住）

- 都市建設委員会 副委員長
- 議会広報広聴特別委員会

路上喫煙防止対策について

「まちをきれいにする観点に加え受動喫煙防止の観点から煙の漏れない喫煙所設置を進められたい。」という流山市議会全体の合意事項が採択されたことについて、市として趣旨をどのように受け止めて対策にどのように反映させていくのか、一般質問を行いました。たばこ税を所管する総務省自治税務局からの通知には、**分煙施設を整備した自治体について、「路上喫煙が減少した」「たばこのポイ捨てが減少した」「分煙環境が改善した」といった効果があったことが記載されていた**、という答弁がありました。引き続き、路上喫煙とたばこのポイ捨て撲滅に取り組んで参ります。



笠原久恵
（前ケ崎在住）

- 教育福祉委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会

運動公園周辺地区の土地区画整理事業の事業計画変更を質問！

本事業の**3年間延長**を質問し、**5点を要望！**

1. **住民はこの区画整理事業に振り回されています。**市も**地権者の課題をよく把握**されたい。
2. 地権者への説明会の周知は、**全ての地権者にしっかり周知されるよう県へ指摘されたい。**特に**古間木地区は自治会がありませんので個別郵送するなど必ず周知されたい。今回の古間木への説明会の再実施を要望。一その後県職員が一軒一軒説明して回りました。**
3. **最低でも計画通り完了されたい。**
4. 特に**地権者本人への影響**がある変更は、**必ず説明されたい。**
5. **土砂災害特別警戒区域対策場所以外は、令和11年度に完成されたい。**



坂巻儀一
（東深井在住）

- 総務委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会

市政に関する一般質問

質問事項1として北部地域及び新川地区における事業進捗と課題を取り上げ、利根運河の飛び石橋の安全性や設計思想、公園トイレ改修、駅前環境整備、さらに物流施設稼働に伴う交通渋滞と将来のインフラ容量、県との連携状況について質問しました。
質問事項2では、政府が示した外国人施策を踏まえ、在留管理の厳格化と多文化共生の両立における自治体の役割として、本市の現状把握、国との情報連携、多言語対応、教育・窓口体制、横断的な支援体制の必要性を伺いました。国の新たな外国人施策に際し、単なる受動的対応ではなく、先手の準備として体制整備を進めるべきだと考えます。



青野　直
（流山在住）

- 教育福祉委員会

市政に関する一般質問（令和7年第4回定例会）

1. 市民の健康づくりについて ①疾病の早期発見の取組 ②地域医療体制の充実 ③保健センターの大規模改修事業の今後の日程　**2. 市民生活を守るための施策の充実について** ①交通安全 ②防犯対策 ③消費者トラブルの相談体制
3. 誰もが自分らしく暮らせるまちづくりについて 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく自立した生活を送ることができるまちづくりに向けた諸施策（交通安全・防犯・消費者トラブルの相談体制）　**4. 流山本町へのグリーンスローモビリティ導入について** ①地元検討委員会との検討・協議 ②導入に向けた今後の見通し

最近の活動の様子





会派控室での、会派会議・議案勉強会の様子



「流政会」とは

建設的な政策立案、提言を行い実現する事を目的とし、市民生活の向上を目指す会派。

発行 流山市議会「流政会」　発行責任者 近藤みほ

流山市平和台1-1-1（流山市議会 議会事務局）
04-7150-6099
nagareyamasigikai.ryuseikai@gmail.com

会派の活動を随時発信中!!
https://www.facebook.com/nagareyamaryuseikai

流山市
都心から一番近い森のまち

流山市議会

流政会だより

令和8年1月31日発行

年4回発行
通巻 Vol.72

-contents-

☑ 議案第80号 令和7年度流山市一般会計補正予算（第4号）
☑ 議案第93号 流山市学校給食共同調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
☑ 流山市総合運動公園の整備運営事業について

賛成 議案第80号 令和7年度流山市一般会計補正予算（第4号）

■ 総務委員会

坂巻儀一　渡辺仁二

◎ 委員会にて補正予算を審査

◎物価高・脱炭素・市民生活を支える対応を確認

総務委員会では、令和7年度補正予算について審査を行い、流政会として各事業の必要性や妥当性を確認しました。今回の補正は、エネルギー価格の上昇や市民ニーズの変化など、年度途中に生じた課題に対応する内容が多く含まれています。

まず、野々下福祉会館指定管理事業に関する電力事業者の変更について質疑を行いました。これは、東京電力エナジーパートナーから京和ガス株式会社へ変更し、ゼロカーボン電力を導入するものです。一般的にゼロカーボン電力は割高となりますが、国の重点対策加速化事業の交付要件を満たし、2030年までに公共施設における電力排出量を実質ゼロを目指す市の方針に沿った取り組みであることを確認しました。

また、旧割烹新川屋の土地建物売却に伴う土地売払収入については、市指定文化財を解除せずに売却できるのかを質しました。市からは、文化財指定を維持したまま売却可能であるが、指定を解除しないと改修や建物を取り壊せない条件を入札案件に案内していると説明。売却額は2億5000万円と確認しました。

財政調整基金繰入金の追加については、繰替運用の財源としての措置であり、突発的な財政需要に対応するためのものであるとの答弁がありました。流政会としては、今後も基金残高の適正な管理と中長期的な財政運営を注視してまいります。

ふるさと納税事業では、返礼品費や委託費が増加している点について確認しました。流山市のコスト率は約50％で全国的な水準の範囲内であり、化粧品や日用品など「日常で使える返礼品」を通じて事業者のファンづくりにつなげる考え方が示されました。本年度の寄附額は約2億5千万円が見込まれています。

このほか、高齢者帯状疱疹予防接種の接種者数が当初想定を大きく上回っていることや、ごみ焼却施設の安定運営、通学路の安全確保につながる道路拡幅事業など、市民生活に直結する施策についても確認しました。

流政会は今後も、委員会審査を通じて事業内容を丁寧にチェックし、市民の皆さまの声を市政に反映させてまいります。



賛成 議案第93号 流山市学校給食共同調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■ 教育福祉委員会

青野直　笠原久恵

議案第93号について、流政会は賛成の立場から討論いたしました。

本議案は、東小学校及び江戸川台小学校のリニューアル工事に伴い、調理場に必要とされる衛生管理体制（HACCP基準）に準拠した施設建設用地を学校敷地内で確保することが困難と判断されたことから、今回の改修工事と同時に八木南調理場、おおぐろの森調理場とし、東小学校は八木南小学校、江戸川台小学校はおおぐろの森中学校から給食が運ばれて来ることになるもので、これにより市内小中学校給食調理場のHACCP基準の対応を進めようとするものです。

質疑から江戸川台小学校や東小学校調理場で働く人は他校の調理場で働くことや、使わなくなった調理場の場所は学校からの要望を聞きながら利用を決定することを確認いたしました。共同調理場から運ばれてきた給食を以前に試食させていただきましたが、温かくとても美味しい給食でした。成長過程にいる子どもたちの何よりの楽しみであり、体を作る大切な栄養であることから、安心で安全な給食提供にこれからも努めていただくこと、自校の調理場の給食から共同調理場の給食提供に代わるときのスムーズな変更を要望して議案第93号に賛成といたしました。

※HACCP（ハサップ）とは：原材料の入荷から調理、提供に至るまでの各工程で、食中毒の原因となる危害（ハザード）を科学的に分析し、その危害の発生を防止できる「重要管理点」を定め、このポイントを重点的に管理することで食品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。

聞き取り 流山市総合運動公園の整備運営事業について

■ 都市建設委員会

石原修治　川本大臣

令和7年第4回定例会の都市建設委員会協議会では、流山市総合運動公園の整備運営事業について、当局より説明がありました。

■流山市運動公園の愛称について

市民をはじめ多くの方々に親しまれてきた流山市総合運動公園は、令和8年4月から公園全体に指定管理者制度を導入し、また、カフェの運営も開始し、新たなスタートを切ることとなります。それに伴い、当該公園の愛称を「流山セントラルパーク」とし、さらに多くの方々に親しまれる公園となるよう、指定管理者と連携しながら運営することとなりました。

■カフェ事業者の決定について

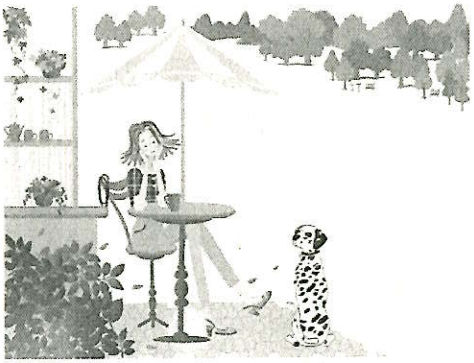
運動公園内に建築しているカフェの事業者がスターバックスに決定しました。

■ホームページの改定・SNSの導入について

公園の管理体制が変わることやイベントが増えること、カフェの運営が開始されることなどに合わせ、利用者に向け分かりやすく情報発信される予定です。

■自主事業の検討について

自主事業としてイベント開催の充実を図るため、指定管理者と協議を行い、公園利用者を増やし、利用者のニーズに沿ったイベント等の開催を計画しているとのことです。



④－1
④－2

自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
08-03-30	049	4	N	[redacted]			96	引出

万円	5千円	千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額	消費税込手数料	お取引後元帳残高
										¥992,683	¥220	**********

ご案内　＊　お振込明細　＊　2C0096

お振込先　[redacted]

様

10:49

ご依頼人　ﾅｶﾞﾚﾔﾏｼｷﾞｶｲ ﾘﾕｳｾｲｶｲ [redacted]

様

[redacted]

印紙税申告納付につき千葉東税務署承認済

■印紙税納付の必要がない場合は＊印で消しております。

裏面記載の「お知らせ」をお読みください。

④-1の請求書

御請求書

発行日 2026 年 3 月 19 日

流　政　会　御中

下記の通り御請求申し上げます。

御請求額合計 ¥992,683 (税込) 円

ソル・セールズプロモーション株式会社
千葉県流山市加 1-1569 〒270-0176
tel.04-7159-5003 fax.04-7159-5004

登録番号 T6040001041430

<明 細>

No.	品　名	単 価	数 量	計	備　考
1	【流政会だより Vol.73】				
2	版下制作	50,000	1	50,000	
3	印刷 B4サイズ 両面カラー/コート70.5kg	3.79	78,910	299,069	別途印刷予備400部
4	ポスティング B4サイズ	7.00	78,910	552,370	
5	二つ折り加工	1.00	79,910	79,910	
6	出精値引	▲ 1.00	78,910	▲ 78,910	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

小 計	902,439
消費税(10%)	90,244
合 計	992,683

■振込先

[redacted]

特記事項	恐れ入りますが振込手数料はお客様のご負担でお願い申し上げます。

流政会だより Vol.73



代表 **近藤みほ**
（おおたかの森南在住）

- 市民経済委員会
- 議会運営委員会 副委員長

ハラスメント防止と「稼ぐ」まちづくりの推進

1. 提案してきたハラスメント実態調査が実現！
職員の16％が被害を経験し、カスハラも約5割に上ると判明。**犯人探し**ではなく、指導との境界を明確にする研修や相談プロセスの**可視化**を提言しました。市は国の方針に基づき、ポスター掲示等の啓発も努めると回答を得ました。**2.「稼ぐ」まちづくりの推進**
おおたかの森駅を質の向上の転換期と捉え、**地価上昇や商業用地の税収効果**を指標とした都市経営を提案。限られた空間を有効活用する**都市空間消費量**の概念や**都市経営人材の育成**を求めました。市は研究し、稼ぐまちづくりを市民サービスへ還元する姿勢を示しました。



幹事長 **渡辺仁二**
（越在住）

- 総務委員会 委員長
- 議会運営委員会
- 予算審査特別委員会

下花輪福祉会館【ほっとプラザ下花輪】について

令和7年6月の一般質問にて、**「下花輪福祉会館の浴室」**の市外利用者急増を受け、市民の皆様の利益を守るための利用料金の見直しを強く提言しました。これを受け、市は条例を改正。**令和8年7月**より、**市外利用者の浴室利用料**を、在勤者を除き**市民の2倍**を基本とする設定に改めることが決定しました。**尚、市民利用料金は変更なし。**多額の税金が投入される中、公費負担を抑えつつ、近隣入浴施設への民業圧迫も回避する持続可能な運営へと舵を切ります。今後も受益者負担の適正化を図り、地域住民の皆様が健康増進のために安心して利用できる施設環境の整備に、全力で取り組んでまいります。



小沢えみり
（木在住）

- 市民経済委員会 副委員長

流山市の病児保育と幼保小連携について

病児保育は現在3施設に委託されていますが、キャンセル待ちの日が多く、利用しにくい状況です。一方、当日キャンセルも多いため事業者側の苦労もあります。独自アンケートでは、**9割以上の保護者がこどもの急病時に仕事との両立で困った経験**があり、今後は**受入体制の検討や、医療機関への支援、利用者負担の軽減**など、必要な時に安心して利用できる環境整備を市に求めました。また、**幼保小連携**について、流政会を代表して現場での実践状況や管理職への理解促進の進捗を確認し、切れ目なくこどもの育ちを支えるよう**現場の声を丁寧に拾いながら進めていくことを要望**しました。



議長 **石原修治**
（東初石在住）

- 都市建設委員会

インクルーシブ遊具が設置（増設）されます！

令和8年第1回定例会初日の市長からの施政方針で、数多くの施策予定からインクルーシブ遊具の設置（増設）がありました。インクルーシブ遊具については、令和2年第3回定例会の市政に関する一般質問で、障害者の視点に配慮した公園が少なかったことから初めて取り上げ、現在では、流山市総合運動公園および南流山中央公園に設置されています。障害の有無にかかわらずこども達が共に遊べる遊具を設置することで、今まで公園へ行くことを諦めていたこどもや家族にとって、人と人を繋ぐ場としての機能が高まります。インクルーシブ遊具については、さらに増設を求めていきます。



川本大岳
（南流山在住）

- 都市建設委員会 副委員長
- 議会広報広聴特別委員会

南流山駅前広場改修に約3000万円が予算計上

今定例会では、令和8年度予算の審査が行われました。計上事業は多岐にわたりますが、**南流山駅前広場改修の基本設計業務委託料として3,003万円**が計上されました。令和8年2月11日には基本計画案の説明会が開かれ、令和8年度は同計画に基づく改修工事の基本設計が進められる予定です。計画通りに進捗すれば、**令和10年度に北口広場、令和11年度に南口広場の改修工事**が見込まれます。安全性や利便性の向上につながるよう、説明会後の意見募集で寄せられた市民のみなさまの声がどのように反映されるのかに着目し、引き続きしっかりと進捗を注視してまいります。



笠原久恵
（前ケ崎在住）

- 教育福祉委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会
- 予算審査特別委員会 委員長

都市計画道路3・4・11号野々下思井線道路について

都市計画道路3・4・11号野々下思井線道路改良事業について都市建設委員会協議会にて説明がありました。豊四季駅方面からあざみ先手前までの整備は完了しています。完了部分から一部変更がありますが、**令和8年度は、八木中学校裏を過ぎた辺りまでの約1.1kmの距離の道路の設計を予定し、令和9年度は道路の測量をします。そして令和10年度は、用地測量、物件調査などを行っていく**との事です。今までの道路では狭い道路の通学など危ない箇所が多く、計画の変更もあることからこれからも注視してまいります。



坂巻儀一
（東深井在住）

- 総務委員会
- TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会

総務委員会議案第4号の賛成討論より抜粋

担当する総務委員会に付託された議案第4号一般会計補正予算（第7号）において、小学校校舎等リニューアル事業については、国庫補助金の状況や財政的制約により、すべての小学校を同時にリニューアルすることが難しいことは理解しますが、児童の心情に思いを致すならば、学校間で大きな時間差が生じないよう配慮が必要であります。全面的な改修が段階的になる場合であっても、例えばカーテンの更新など比較的早期に実施可能な部分から整備を進めるなど、可能な限り学習環境の改善を図っていただくことを指摘要望しました。



青野　直
（流山在住）

- 教育福祉委員会

令和8年第1回定例会が開催されました

令和8年2月19日から3月24日の日程で令和8年第1回定例会が開催されました。市政に関する一般質問では以下の事項について質しました。

1. 児童・生徒の通学支援について
2. 市民の健康づくりの取組について
3. 流山本町のまちづくりについて
（1）流山本町の公共交通
（2）平和台駅前スクランブル交差点
（3）流山本町住民・観光客への交通安全対策

最近の活動の様子





会派視察の様子（宮城県岩沼市にて）



「流政会」とは

建設的な政策立案、提言を行い実現する事を目的とし、市民生活の向上を目指す会派。

発行 流山市議会「流政会」　発行責任者 近藤みほ

流山市平和台1-1-1（流山市議会 議会事務局）
04-7150-6099
nagareyamasigikai.ryuseikai@gmail.com

会派の活動を随時発信中!!
https://www.facebook.com/nagareyamaryuseikai

都心から一番近い森のまち
流山市 Nagareyama City

流山市議会

流政会だより

令和8年3月31日発行

年4回発行
通巻 Vol.73

-contents-

- 議案第4号　令和7年度流山市一般会計補正予算（第7号）
- 陳情第24号　「多子世帯の保育料負担軽減」を求める陳情書
- 流山市下水道使用料の改定案について
- 宮城県視察研修のご報告
- 議案第1号　令和8年度流山市一般会計予算

賛成 議案第4号　令和7年度流山市一般会計補正予算（第7号）

■ 総務委員会

坂巻儀一　渡辺仁二

和8年第1回定例会総務委員会に付託された議案第4号令和7年度一般会計補正予算（第7号）について審査を行いました。

本補正予算は、障害者自立支援給付事業、私立保育所等運営補助事業、ICT学習空間整備事業、小学校校舎等リニューアル事業など、市民生活の基盤を支える福祉、子育て、教育、都市基盤整備に関する施策を中心に計上されています。また、初石駅施設整備事業については事業費確定に伴う減額整理が行われていました。

委員会では、各事業の必要性や今後の整備の進め方について意見が出されましたが、全体として市民生活の向上と将来への投資に資する内容であることを確認し、賛成といたしました。

賛成 陳情第24号「多子世帯の保育料負担軽減」を求める陳情書

■ 教育福祉委員会

青野直　笠原久恵

陳情第24号「多子世帯の保育料負担軽減」を求める陳情書に対し、賛成の立場で討論いたしました。

流山市は年少人口が多く、子育てをしながら働き続けられる保育環境の整備は不可欠です。一方で、この旺盛な保育需要を支えるための民生費は右肩上がりに増加しており、一自治体の財源だけで賄うには限界があります。

国が「こども・子育て支援」への注力を明示している今、国全体で支える仕組みがなければ、本市のような自治体にとって持続可能な支援は困難です。今後、市独自の追加助成を継続していくことは、決して容易ではありません。

しかしながら、近隣自治体の動向や物価高騰による教育費への影響を鑑みれば、多子世帯の経済的負担は極めて深刻です。「流山市に長く住み続けたい」と感じていただける環境を維持するためにも、本陳情に対し賛成といたします。

質疑 流山市下水道使用料の改定案について

■ 都市建設委員会

石原修治　川本大岳

令和8年第1回定例会の都市建設委員会協議会で、流山市下水道使用料の改定案について当局から説明がありました。

下水道事業は使用料を主な財源とする独立採算制を原則とし、公衆衛生を守るとともに浸水を防除し、安定した生活や経済活動、安全を下支えする社会基盤です。

しかし現状は資金不足を水道事業からの借入で補っています。毎年度、維持管理費に加え、工事の前払金や完成時支払い、前年度発注工事の残金など建設投資額、企業債の元金償還金と利子の支払いが必要です。

将来にわたり安定的に運営するため、令和16年度までに優先度の高い費用1年分を賄える内部留保資金（約20億円）を確保するため、令和9年4月から使用料を平均23.5%値上げする予定とのことです。

報告 宮城県視察研修のご報告

近藤みほ　小沢えみり

会派視察では宮城県岩沼市、富谷市を訪れ、まちづくりや教育施策について学びました。

岩沼市では、市民と行政が対等なパートナーとして議論を重ねながら進める「協働のまちづくり」が進められており、住民主体で整備されたコミュニティ施設や市民活動への助成制度など、市民の主体的な活動を支える仕組みが整えられていました。また、官民連携のまちづくりでは、行政だけでなく民間や地域団体と連携することで、地域課題の解決や持続可能なまちづくりを進める重要性を学びました。

さらに富谷市では、東北初の不登校特例校を視察し、少人数環境の中でこども一人ひとりに合わせた学びの場を提供する取り組みを確認しました。今回の視察で得た学びを、今後の流山市のまちづくりや教育施策に活かしてまいります。

賛成 議案第1号　令和8年度流山市一般会計予算

■ 予算審査特別委員会

笠原久恵　渡辺仁二

未来を見据えた都市経営へ ― 令和8年度予算を問う

令和8年度予算に関する総括質疑では、都市基盤整備、環境政策、観光政策の三つの視点から、市の姿勢を問いただしました。

まず、千葉県が施行する「運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業」についてです。本市は直近5年間で約25億円、過去10年間では55億円以上もの負担金を支出しています。しかし、事業計画はこれまで7回変更され、完了時期も延長され続けています。その結果、地権者の方々は将来の生活設計が立てられない状況に置かれています。市長は「遺憾」との認識を示しましたが、県任せではなく、市として工程の見える化や地権者支援など主体的な関与を強めるべきだと求めました。

次に地球温暖化対策です。住宅の断熱化と耐震化を組み合わせた補助制度は、光熱費削減と災害時の安全確保の両面で大きな効果が期待されます。環境政策は単なる環境対策ではなく、地域経済の活性化にもつながる政策です。さらに、公園の樹木管理における土中環境改善の試行や、酷暑対策として自治会館などを活用した「涼み処」の整備など、市民生活に直結する取り組みについても議論しました。

三番目は、「流山本町・利根運河ツーリズム施策」についてです。これまで古民家を活用した観光まちづくりは一定の成果を上げてきましたが、活用可能な古民家が減少し、新たな課題が生まれています。また、古民家再生には1,000万円以上の自己資金を投じる事業者も多く、経営環境は決して容易ではありません。築50年前後の建物や住宅の一部を店舗として活用する「住み開き」への支援、さらに補助制度の柔軟化など、次の10年を見据えた制度改革を提案しました。

都市の将来像を描く大きな政策と、市民の日常を守る身近な施策。その両方を前に進めることが、持続可能なまちづくりにつながります。流政会は今後も、市民目線に立った政策提案を続けてまいります。

会計帳簿　第６号様式

資料作成費

広報費支出合計　19,978円

年月日	内　　容	金額	領収書番号	備考
R7.6.19	コピー用紙代	5,313円	①	
R7.11.5	コピー使用料	5,360円	②	
R8.2.9	文房具代	3,750円	③	
R8.3.10	コピー使用料	5,555円	④	

資料作成費

(1)

領収証

No 031581 ✓ 6/12

流政会 様

R 7 年 2025 年 6 月 19 日

金額	¥5313

コピー用紙代

内
☑ 10%課税商品・税込 ¥5313
消費税 ¥483
☐ 8%課税商品・税込

現金・小切手

HISAGO #N1778(100)別 J648063

登録番号：T3040001038025

上記正に領収いたしました

～～～安い・豊富・経力の品揃え～～～
OA機器・パソコン・コピー・FAX・印[illegible]
スチール家具・物流設備・スチー[illegible]
理科機器・研究室用機材・和洋紙・画[illegible]

広文堂 NEW・DX 株式会社
流山市松ヶ丘1-462-90（南柏国道[illegible]
柏市加賀3-29-12（柏駅東通り・五差路[illegible]
我孫子市高野山484-16（我孫子自動[illegible]
電話 04-7144-2151(代表) 柏市加賀 04-7179-[illegible]
FAX 04-7144-2154 我孫子 04-7185-8136
http://www.kobundo-net.co.jp/ E-mail info@kobundo-net.co.jp

広文堂 NEW・DX

印

(2)

領　収　書

納入者（住所・氏名）

〒
流政会

代表　近藤　みほ　　様

納入金種別（摘要）	金　額
複写機使用料（０５） （上半期分）	5,360 円
（　）	
合　計	5,360

上記の金額を領収しました。

主管課名　議会事務局

7	一般会計	番号	年月日 領収印

納入(10)
7. 11. 5
千葉銀行
流山支店

コピー使用料請求内訳書

令和７年１０月３０日

流政会　様

流山市議会事務局長　稲澤　玄哉

月	使用枚数	単価 （用紙代含む）	コピー代
	枚	円	円
4	374	5	1,870
5	64	5	320
6	301	5	1,505
7	60	5	300
8	121	5	605
9	152	5	760
合　計	1,072	5	5,360

(3)

領　収　証

流政会 様　2026年 2月 9日

★ ¥3,750-

但 文房具代として

上記正に領収いたしました

内　訳

税率 10 %	金額(税抜・税込)	3409
	消費税額等	341
税率 %	金額(税抜・税込)	
	消費税額等	

流山市三輪野山一丁目1019番地
文具のオアシト
TEL 04(7159)5448
FAX 04(7159)5498

コクヨ ウケ-1048

登録番号 T1810703436787

(4)

納入通知書兼領収書

下記のとおり納入してください。

令和８年３月９日

流山市長　井崎　義治　㊞

（納入者）住所・氏名

〒

流政会

代表　近藤　みほ　様

納入金種別（摘要）	金額
複写機使用料（下半期分）　（ 05 ）	5,555 円
（　）	
合　計	5,555

上記の金額を領収しました。

主管課名	議会事務局			
7 年度	一般 会計	番号	年月日 領収印	
科目	款	項	目	節
	20	05	03	13

納 (10)
8. 3. 10
千葉銀行 流山支店

（納入者控）

3-1

コピー使用料請求内訳書

令和８年３月９日

流政会　様

流山市議会事務局長　稲澤　玄哉

月	使用枚数	単価 （用紙代含む）	コピー代
	枚	円	円
10	112	5	560
11	357	5	1,785
12	270	5	1,350
1	7	5	35
2	365	5	1,825
3	0	5	0
合　計	1,111	5	5,555

会計帳簿　第７号様式

資料購入費

資料購入費支出合計　14,256円

年月日	内　　容	金額	領収書番号	備考
R7.5.15	月刊「ガバナンス」2025年4月号～2026年3月号	14,256円	①	

資料購入の⑦

(1)

請　求　書

登録番号：T1010001100425

流山市議会
流政会　様

令和　7年　4月　1日

東京都江東区新木場1丁目18番11号（〒136-8575）
株式会社ぎょうせい
代表取締役
社　長　西本功

下記のとおりご請求いたします。

令和7年4月～令和8年3月分　（0450-0010206）

ご請求額	¥14,256.-
内消費税10%	¥1,296.-

お得意様No.（請求No.）	50-0299636（504026988）

お支払は令和　7年　5月　31日までにお願いします。

品名	追録号数	数量	単価	金額	備考
月刊「ガバナンス」2025年 4月号～2026年 3月号	購読料	1	14256	14256	

（振込先）[redacted]　N　01250031017（527）

（要打電項目）　504026988　ナカレヤマシキカイ　リュウセイカイ

E

領　収　証

収入印紙

流山市議会
流政会　様

¥　14,256.-

7年　5月　15日

〔内　訳〕　上記のとおり領収いたしました。金額には消費税及び地方消費税が含まれております

東京都江東区新木場1丁目18番11号（〒136-8575）
株式会社ぎょうせい
代表取締役
社　長　西本功

領収証番号	取扱者
20250520-1	[redacted]

品名	号数	数量	単価	金額	備考
月刊「ガバナンス」2025年 4月号～2026年 3月号		1	14256	14256	

※本証に、領収証番号及び取扱者印のないときは、その責を負いません。